

審査メモで示された論点に対する回答

(H29. 12. 27 農林水産省大臣官房統計部センサス統計室)

1 漁業センサスの変更

(1) 調査対象の範囲の変更〔海面漁業地域調査票及び漁業管理組織調査票〕

(論点_審査メモP1)

[1-(1)-1]

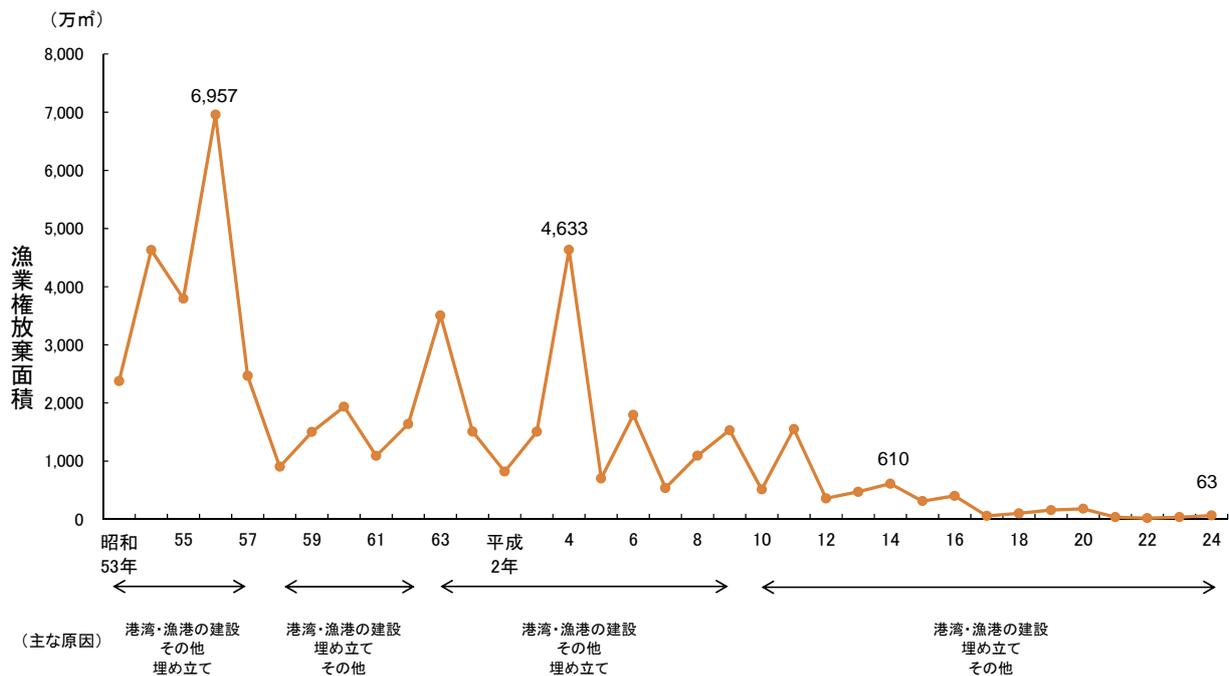
1 今回削除予定の調査事項(漁業権の放棄状況)はどのような経緯で設定され、これまで具体的にどのような行政施策等に活用されているのか。

漁業権の放棄状況に係る調査事項については、第7次漁業センサス(昭和58年実施)から、200海里体制の定着により我が国沿岸水域の漁業資源の重要性が高まる一方で、埋め立てなどにより沿岸漁場が喪失している実態があることから、漁業権の放棄状況を明らかにする統計を作成するために設定し、漁場環境保全対策に係る検討資料として活用されていた。

2 本調査で把握している漁業権の放棄状況に係る調査事項（放棄面積及び放棄原因）についてデータ面における推移はどうなっているか。また、漁業権の放棄状況について、都道府県は何時から、どのような情報を保有しているか。一部都道府県の保有情報と本調査の把握内容の差異等を例示しながら、代替可能と判断した理由を具体的に説明願いたい。

1 漁業センサス結果における漁業権の放棄状況の推移は、以下のとおり。

図 漁業権放棄面積の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」より

- 2 漁業権は、漁業法（昭和24年法律第267号）第10条に基づき、都道府県知事が、従来から共同漁業権、区画漁業権及び定置漁業権の漁場計画を決定し、漁業協同組合等に免許していることから、都道府県は、漁業権に関する区画数等のデータを一元的に保有している。
- 3 また、免許を受けている漁業協同組合等において、漁業権の放棄がある場合は、免許の番号や原因を記載した書面にて都道府県知事に申請することとなっている。したがって、都道府県では、漁業権の放棄面積及び放棄原因のデータについても把握している。
- 4 このため、これまでの海面漁業地域調査においても、漁業協同組合における漁業権放棄面積を把握していたが、当該面積も少なくなっており、行政の利活用においては、必要に応じて都道府県の把握する情報を収集することで、代替可能と判断した。

3 資源管理計画や漁場改善計画における記載事項と現行漁業管理組織調査票における調査事項による把握内容との差異等はどのようになっているのか。変更後の海面漁業地域調査票との相違点は何か。その際、それぞれについて把握時点や定義・範囲等に差異があれば説明願いたい。

1 資源管理計画、漁場改善計画、従来の漁業管理組織調査票及び新たな海面漁業地域調査票の中の資源管理の取組における把握内容は、下表のとおり。

新たな海面漁業地域調査票中の資源管理の取組の項目については、従来の項目も踏まえつつ特に重要なものについて設定しており、資源管理計画や漁場改善計画の記載内容に即して記入できるものとなっている。

| 内容 | 資源管理計画 | 漁場改善計画 | 従来の漁業管理組織調査票 | 新たな海面漁業地域調査票 (資源管理の取組) |
|-------|---|---------------------------------|--|---|
| 規模 | 計画に参加者名簿を添付 | 記載はないが、当該養殖業を営む者(漁業権の行使者)すべてが参加 | 参加漁業経営体数 | 参加漁業経営体数 |
| 漁業種類 | 名称に漁業種類を明示 「資源管理を達成するための措置」に漁業種類を記載 | すべて養殖に関する計画 | 漁業種類別経営体数 | 調査しない |
| 地域範囲 | 対象海域を記載 | 対象水域を記載 | 参加漁業経営体の地域範囲 | 調査しない |
| 対象資源 | 対象資源を具体的に記載 | 対象水産動植物を具体的に記載 | 漁業管理を行った魚種 (35区分) | 漁業管理を行った魚種 (21区分) |
| 具体的措置 | 資源管理を達成するための措置を具体的に記載 | 養殖漁場の維持・改善を図るための措置を具体的に記載 | 実施した措置 漁業資源の管理(4区分) 漁場の保全・管理 (8区分) 漁獲管理の規制(11区分) | 実施した措置 漁業資源の管理(3区分) 漁場の保全・管理 (6区分) 漁獲管理の規制(8区分) |
| その他 | ・取組の目標 ・取組期間 ・参加、脱退の手続き ・計画変更・廃止の手続き | ・目標 ・実施期間 ・体制 ・状況調査の内容 | 漁業管理に係る調整 (4区分) | 調査しない |

2 これまで漁業センサスは、11月1日現在で、過去1年間の状況を把握している。それに対し、資源管理計画及び漁場改善計画については、計画策定時及び変更時に都道府県へ提出される。このため、都道府県では常に最新の計画内容を把握している。

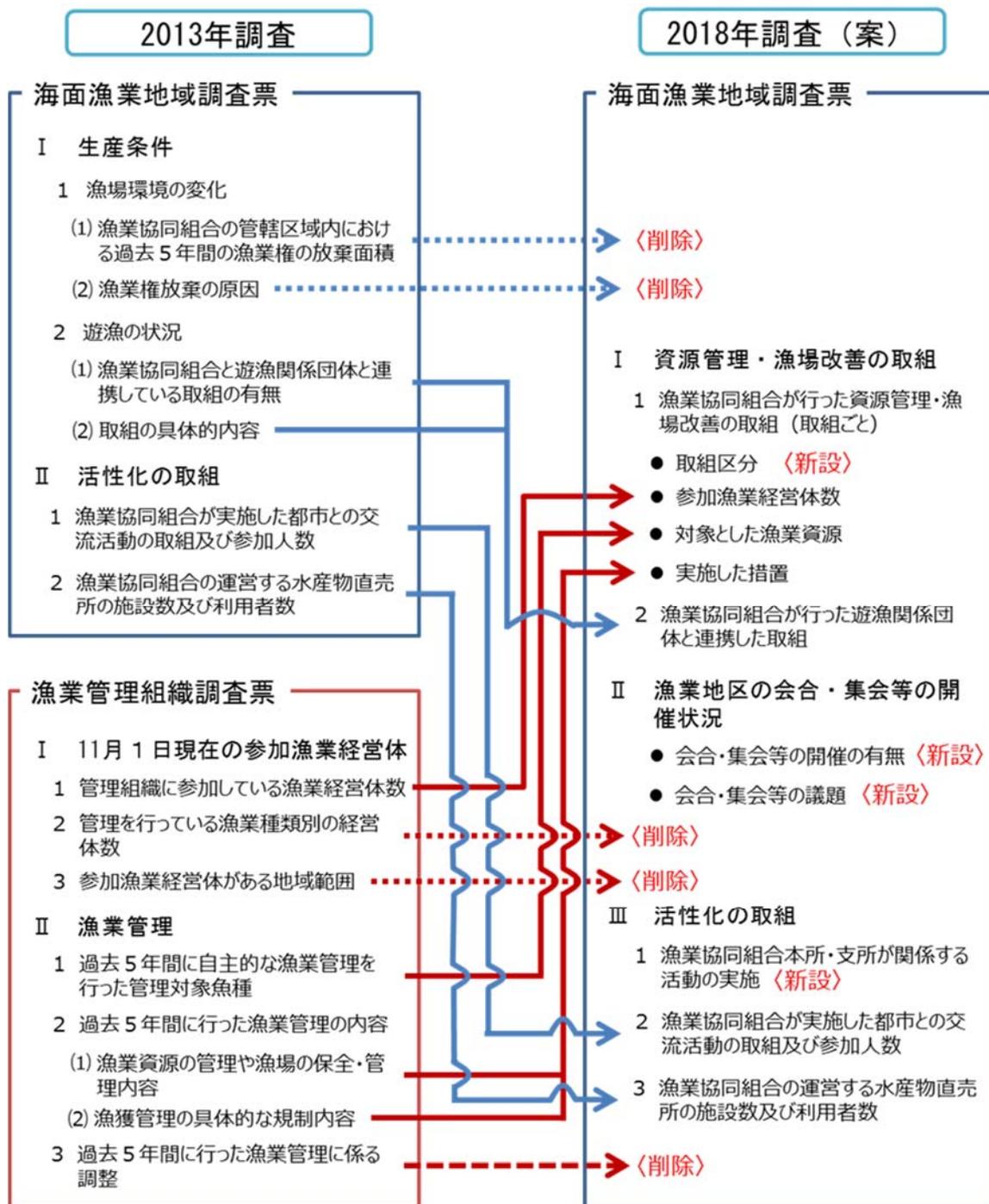
3 従来の漁業管理組織調査は、自主的に資源管理を行う漁業者の集まりのうち、以下を満たすものを「漁業管理組織」と定義し、この漁業管理組織ごとに調査を行ってきた。

- ① 漁場又は漁業種類を同じくする複数の漁業経営体が集まっている組織
- ② 自主的な漁業資源の管理、漁場の管理又は漁獲の管理を行う組織
- ③ 漁業管理について、文書による取決めのある組織
- ④ 漁協又は漁連が関与している組織

一方、新たな海面漁業地域調査は、計画そのものの内容を把握するのではなく、地域で取り組んでいる資源管理や活性化の状況を調査するものである。

4 調査票の統合・再編により、前回調査と今回調査において全体の調査事項はどのように整理されるのか(変更前後の調査事項の体系図を示して頂きたい)。また、今回変更に伴う利活用上の面でメリット・デメリットは何か。

1 海面漁業地域調査票及び漁業管理組織調査票の統合・再編は、以下のとおり。



2 新たな海面漁業地域調査では2,182の漁業地区ごとに調査を実施し、この地域ごとに調査結果を提供する。この表章範囲は、浜の活力再生プランとほぼ同様の地域範囲となるため、地域ごとの活性化の企画、検証等に活用しやすいと考えている。

このように、小地域で、情報を提供できることが、新たな海面漁業地域調査に変更することのメリットであると考えている。

3 資源管理に関する統計については、従来調査では、資源管理計画等を有する組織毎に調査しこれを都道府県別に集計し表章していたが、2018年漁業センサスでは、資源管理や、活性化に係る地域ごとの取組を漁業協同組合で調査し、この実態を地域ごとに提供することを考えている。このように、調査対象や把握の考え方が異なることから時系列の確保ができないことがデメリットと考えている。

なお、一部の調査項目（都市との交流活動、水産物直売所数）については、各地区ごとの取組であっても積み上げることが可能なため都道府県別結果の時系列は確保される。

5 前回調査では、海面漁業地域調査票は漁業協同組合（約1,000組合（本部））を、漁業管理組織調査は漁業管理組織（約1,700組織（組合の部会・支部））をそれぞれ対象とする一方で、今回調査では両調査票の統合に伴い、漁業協同組合（約950組合（本部））のみとしている中で、これまで漁業管理組織調査票で把握していた資源管理や漁場改善の取組状況に係る調査事項について、適切かつ負担なく回答することはできるのか。

新たな海面漁業地域調査票の調査対象は、漁協本所（約950カ所）を考えているが、支所を有する漁協では、本部を通じて支所に記入いただくこととしている。

各支所では、その地区の資源管理計画や、漁場改善計画を地域の漁民とともに取りまとめていること、また、その漁業地域の活性化の取り組み等についての推進役にもなっていることから、地域の実態を熟知しており、漁業地区（2,182地区）ごとに調査票の記入協力を頂くことを考えている。

また、今回の調査票（案）は、関係団体にも検討いただいたうえで本案をご提示していること。また、農林水産省としても、地域の漁業協同組合を訪問し、各漁業地区ごとに適切な回答が可能かどうかの確認を行いつつ調査設計を行っており、適切に回答できるものと考えている。

(2) 報告を求める事項の変更

海面漁業地域調査票（統合・再編後の調査票）

漁業地区における活動実態を把握する調査事項の追加

（論点_審査メモP3）

[1-(2)-1~3]

- 1 各調査事項における選択肢は、どのような考えやニーズ等に基づいて設定したものが、利活用を含め、改めて具体的に説明願いたい。
- 2 選択肢は、それぞれの活動実態を踏まえ、一定の出現頻度が見込まれるものとなっているか。
- 3 上記を踏まえ、今回追加する調査事項について、必要かつ十分なものとなっているか。

1 今回、新規項目とした選択肢は、新たな水産基本計画（平成29年4月28日閣議決定）に即し、漁業の成長産業化等を進める各種施策の企画、立案、検証の基礎資料として活用するために整備すべきものを設定しており、選択肢ごとの具体的な考え方は以下のとおり。

なお、出現頻度の不明のものもあるが、選択肢はどれも地域の重要課題であり、会合の議題とされていたり、漁業並びに地域の活性化のための取組がなされていると見込んでいる。

(1) 「Ⅱ 漁業地区の会合、集会等の開催状況」の項目の選択肢

| | | 論点1 | | 論点2 | |
|---|-------------------|----------------------------|---|---------------------------------------|----------------------------------|
| | | 設定の考え方やニーズ等 | 主な利活用施策等 | 活動実態 | 一定の出現頻度の見込み |
| ① | 企業参入(漁業権の問題を含む) | 漁業権の取り扱い等に関する課題の生産現場での認識把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・養殖業等への企業の参入 ・数量管理等による資源管理の充実 ・漁業の成長産業化 | 一部地域では、既に企業が漁業権内の漁業に参入 | 組合員の合意のもとに進められるため、議題とされる |
| ② | 特定区画漁業権、共同漁業権の変更 | | | 実態は不明 | 漁業権の変更には、組合員の2/3の同意が必要であり、議題とされる |
| ③ | 漁業権放棄 | | | 漁業権の放棄は約1割の漁業協同組合で該当 | 漁業権の放棄には、組合員の2/3の同意が必要であり、議題とされる |
| ④ | 漁業補償 | | | 漁業権放棄や油濁等により補償問題が発生 | 地域漁業や全体の問題であり、議題とされる |
| ⑤ | 地元地区の共用財産・共有施設の管理 | 漁村における活性化の取組状況の把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・浜の資源のフル活用 ・漁場環境の保全と生態系の維持 | 漁港や付帯する待機所等の施設の管理であり、新設や改修などで該当 | 組合員が共同で利用するものであり、議題とされる |
| ⑥ | 自然環境の保全 | | | 漁場環境としても重要で磯焼け等の問題から組合の事業として実施するものもある | 組合の事業などとして行う場合には、議題とされる |
| ⑦ | 地元地区の行事(祭り・イベント等) | | | 漁港祭、水神祭、定期市の開催など、地域活性化に取り組む漁協もある | 組合の事業などとして行う場合には、議題とされる |

(2) 「Ⅲ 活性化の取組」の選択肢

| | | 論点1 | | 論点2 | |
|---|-------------------------------|-----------------------|--|---|--|
| | | 設定の考え方 やニーズ等 | 主な利活用施策等 | 活動実態 | 一定の出現頻度 の見込み |
| ① | 新規漁業就業者・ 後継者を確保する 取組 | 漁村における活性化 の取組状況の把握 | ・新規就業者の育成・ 確保 | 「漁業就業支援フェ ア」へ新しい漁師を求 めに漁業協同組合が 出展するなど | 地域として取組むこと で実質的な効果を上 げられるため様々な 活動を想定 |
| ② | ゴミ(漂着・漂流・海 底)の清掃活動 | | ・漁場環境の保全と 生態系の維持 | 漂流ゴミなどの回収 後の処分を漁協が組 織的に実施するなど | 地域の自然環境の保 全を目的とする様々 な活動を想定 |
| ③ | 6次産業化への取 組 | | ・浜の資源のフル活 用 | 和歌山県の漁協の事 業が、六次産業化の 総合化事業計画に認 定されるなど 〔水産物関係六次産 業化認定件数168 件(H29.12現在)〕 | 地域の生産物の付加 価値向上に向けた 様々な活動を想定 |
| ④ | ブルーツーリズムへ の取組 | | | 「漁業体験の取組」は 234漁協で実施 (2013年) | 観光業と連携した渚 泊や海を体験するイ ルカウオッチなど様々 な活動を想定 |
| ⑤ | 水産に関する伝統 的な祭り・文化・芸 能の保存 | | ・多面的機能の発揮 の促進 ・浜の資源のフル活 用 | 49.0%の漁協が地元 の伝統行事・祭りに 取り組んだ(民間アン ケート(2014年)) | 漁村の活性化の中核 的な存在として様々 な活動を想定 |
| ⑥ | その他の各種イベ ントの開催 | | | 43.7%の漁協が海産 物販売など地域のイ ベントに取り組んだ (民間アンケート (2014年)) | 漁村の活性化の中心 的な存在として様々 な活動を想定 |

2 上記のとおり、今回の本調査票に追加する調査事項については、今後の行政施策の推進に必要不可欠な事項を漏れなく設定しています。

海面漁業地域調査票（統合・再編後の調査票）以外の調査票

ア 「世帯員すべての人数」の削除

〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）及び内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）〕
（論点_審査メモP3） [1-（2）-ア-1]

1 本調査事項について、データ面での経年変化はどうなっているか。

海面漁業の個人経営体における、男女別世帯員数の推移は、以下のとおり。

表1 男女別世帯員数（海面漁業）

単位：人

| 区 分 | 計 | 14歳以下 | 15歳以上 | 男 | | | 女 | | |
|-------------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|
| | | | | 小計 | 14歳以下 | 15歳以上 | 小計 | 14歳以下 | 15歳以上 |
| 平成15年 | 439,345 | 52,413 | 386,932 | 224,752 | 26,858 | 197,894 | 214,593 | 25,555 | 189,038 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 11.9 | 88.1 | 51.2 | 12.0 | 88.0 | 48.8 | 11.9 | 88.1 |
| 20年 | 367,457 | 37,269 | 330,188 | 190,343 | 19,049 | 171,294 | 177,114 | 18,220 | 158,894 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 10.1 | 89.9 | 51.8 | 10.0 | 90.0 | 48.2 | 10.3 | 89.7 |
| 25年 | 284,948 | 26,032 | 258,916 | 149,552 | 13,307 | 136,245 | 135,396 | 12,725 | 122,671 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 9.1 | 90.9 | 52.5 | 8.9 | 91.1 | 47.5 | 9.4 | 90.6 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 16.4 | △ 28.9 | △ 14.7 | △ 15.3 | △ 29.1 | △ 13.4 | △ 17.5 | △ 28.7 | △ 15.9 |
| 25年/20年 (%) | △ 22.5 | △ 30.2 | △ 21.6 | △ 21.4 | △ 30.1 | △ 20.5 | △ 23.6 | △ 30.2 | △ 22.8 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

内水面漁業の個人経営体における、男女別世帯員数の推移は、以下のとおり。

表2 男女別世帯員数（内水面養殖業）

単位：人

| 区 分 | 計 | 14歳以下 | 15歳以上 | 男 | | | 女 | | |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | 小計 | 14歳以下 | 15歳以上 | 小計 | 14歳以下 | 15歳以上 |
| 平成15年 | 13,942 | 1,760 | 12,182 | 6,995 | 925 | 6,070 | 6,947 | 835 | 6,112 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 12.6 | 87.4 | 50.2 | 13.2 | 86.8 | 49.8 | 12.0 | 88.0 |
| 20年 | 11,128 | 1,236 | 9,892 | 5,597 | 622 | 4,975 | 5,531 | 614 | 4,917 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 11.1 | 88.9 | 50.3 | 11.1 | 88.9 | 49.7 | 11.1 | 88.9 |
| 25年 | 8,391 | 807 | 7,584 | 4,288 | 410 | 3,878 | 4,103 | 397 | 3,706 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 9.6 | 90.4 | 51.1 | 9.6 | 90.4 | 48.9 | 9.7 | 90.3 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 20.2 | △ 29.8 | △ 18.8 | △ 20.0 | △ 32.8 | △ 18.0 | △ 20.4 | △ 26.5 | △ 19.6 |
| 25年/20年 (%) | △ 24.6 | △ 34.7 | △ 23.3 | △ 23.4 | △ 34.1 | △ 22.1 | △ 25.8 | △ 35.3 | △ 24.6 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

表3 男女別世帯員数（湖沼漁業）

単位：人

| 区 分 | 計 | 14 歳 以下 | 15 歳 以上 | 男 | | | 女 | | |
|-------------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|
| | | | | 小 計 | 14 歳 以下 | 15 歳 以上 | 小 計 | 14 歳 以下 | 15 歳 以上 |
| 平成15年 | .. | .. | 9,816 | .. | .. | 4,980 | .. | .. | 4,836 |
| 構成比 (%) | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 20年 | 9,731 | 1,175 | 8,556 | 4,925 | 592 | 4,333 | 4,806 | 583 | 4,223 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 12.1 | 87.9 | 50.6 | 12.0 | 88.0 | 49.4 | 12.1 | 87.9 |
| 25年 | 8,143 | 863 | 7,280 | 4,182 | 441 | 3,741 | 3,961 | 422 | 3,539 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 10.6 | 89.4 | 51.4 | 10.5 | 89.5 | 48.6 | 10.7 | 89.3 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | - | - | △ 12.8 | - | - | △ 13.0 | - | - | △ 12.7 |
| 25年/20年 (%) | △ 16.3 | △ 26.6 | △ 14.9 | △ 15.1 | △ 25.5 | △ 13.7 | △ 17.6 | △ 27.6 | △ 16.2 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

2 今回削除する満14歳以下の世帯員を含めた世帯員全ての人数については、行政施策等において具体的にどのように利活用されていたのか。また、削除しても支障等は生じないか。

- 1 14歳以下の世帯員を含めた世帯員すべての人数については、沿岸漁業等振興法（昭和38年法律第165号）の下で、「沿岸漁業等の従事者が他産業従業者と均衡する生活を営むことを期することができることを目途として、その地位の向上を図ることを目的」として、各種施策が実施されていた時代においては、漁家の世帯員数は、漁業従事者の生活を把握する上で、重要な指標として活用されてきた。
- 2 その後、水産基本法（平成13年法律第89号）の制定に伴い、漁業経営への支援施策に重点がおかれ、漁家の世帯員数の重要度は低下したものの、漁村の総合的な振興を進める上で、漁村における人口減少、漁村の活性化対策などの企画・立案の基礎的な資料として引き続き活用されてきた。
- 3 現在も漁村の活性化等の施策は引き続き実施されているが、漁業経営体が減少する中で、これらの施策対象としては、漁村地域に在住する世帯全体を見ていく必要があります、漁村地域の人口として活用される資料も主に水産庁の行政データ（「漁港背後集落における現状把握のための実態調査」）が用いられてきている。
- 4 このため、漁業センサスにおいて14歳以下の世帯員を含めた世帯員すべての人数を削除しても、行政利活用上の支障はないと見込んでいる。

イ 世帯員の漁業従事状況を把握する調査事項の変更等

(ア) 漁業従事者の年齢把握方法の変更

[漁業経営体調査票 I (個人経営体用) 及び内水面漁業経営体調査票 I (個人経営体用)]
 (論点_審査メモ P 5) [1-(2)-イ-(ア)-1]

1 本調査項目について、データ面での経年変化はどうなっているか。

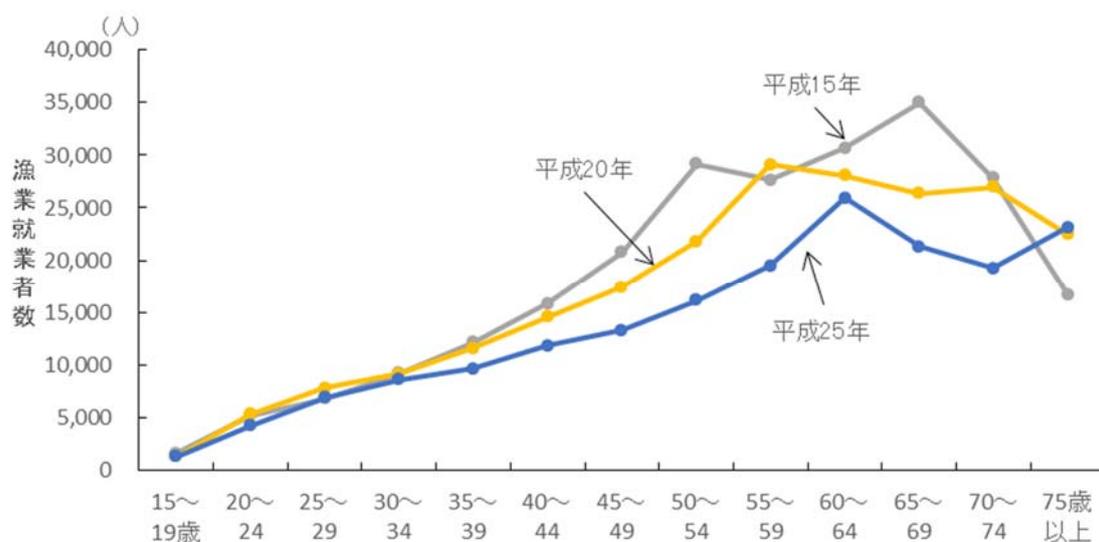
海面における、年齢階層別漁業就業者数の推移は、以下のとおり。

表 1 年齢階層別漁業就業者数 (海面漁業)

| 区 分 | 計 | 男 | | | | | 女 | | | | | 計 | | | | |
|-------------|---------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--|--|
| | | 15～19歳 | 20～24 | 25～29 | 30～34 | 35～39 | 40～44 | 45～49 | 50～54 | 55～59 | 60～64 | 65～69 | 70～74 | 75歳以上 | | |
| 平成15年 | 238,371 | 1,582 | 5,161 | 6,781 | 9,228 | 12,110 | 15,829 | 20,744 | 29,169 | 27,614 | 30,664 | 35,011 | 27,809 | 16,669 | | |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.7 | 2.2 | 2.8 | 3.9 | 5.1 | 6.6 | 8.7 | 12.2 | 11.6 | 12.9 | 14.7 | 11.7 | 7.0 | | |
| 20年 | 221,908 | 1,296 | 5,322 | 7,774 | 9,166 | 11,605 | 14,547 | 17,438 | 21,781 | 29,131 | 28,038 | 26,356 | 26,966 | 22,488 | | |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.6 | 2.4 | 3.5 | 4.1 | 5.2 | 6.6 | 7.9 | 9.8 | 13.1 | 12.6 | 11.9 | 12.2 | 10.1 | | |
| 25年 | 180,985 | 1,274 | 4,211 | 6,910 | 8,593 | 9,642 | 11,803 | 13,297 | 16,159 | 19,505 | 25,958 | 21,289 | 19,219 | 23,125 | | |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.7 | 2.3 | 3.8 | 4.7 | 5.3 | 6.5 | 7.3 | 8.9 | 10.8 | 14.3 | 11.8 | 10.6 | 12.8 | | |
| 増減率 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 6.9 | △ 18.1 | 3.1 | 14.6 | △ 0.7 | △ 4.2 | △ 8.1 | △ 15.9 | △ 25.3 | 5.5 | △ 8.6 | △ 24.7 | △ 3.0 | 34.9 | | |
| 25年/20年 (%) | △ 18.4 | △ 1.7 | △ 20.9 | △ 11.1 | △ 6.3 | △ 16.9 | △ 18.9 | △ 23.7 | △ 25.8 | △ 33.0 | △ 7.4 | △ 19.2 | △ 28.7 | 2.8 | | |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

図 年齢階層別漁業就業者数 (海面漁業) の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」より

内水面における、年齢階層別漁業就業者数の推移は、以下のとおり。

表2 年齢階層別自家漁業就業者数（内水面養殖業）

| 区 分 | 計 | 男 | | | | | 女 | | | | | 計 | | | |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--|
| | | 15～19歳 | 20～24 | 25～29 | 30～34 | 35～39 | 40～44 | 45～49 | 50～54 | 55～59 | 60～64 | 65～69 | 70～74 | 75歳以上 | |
| 平成15年 | 6,727 | 241 | | | 230 | 263 | 371 | 522 | 829 | 762 | 863 | 994 | 922 | 730 | |
| 構成比 (%) | 100.0 | 3.6 | | | 3.4 | 3.9 | 5.5 | 7.8 | 12.3 | 11.3 | 12.8 | 14.8 | 13.7 | 10.9 | |
| 20年 | 5,352 | 23 | 59 | 116 | 154 | 234 | 255 | 305 | 503 | 746 | 712 | 672 | 740 | 833 | |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.4 | 1.1 | 2.2 | 2.9 | 4.4 | 4.8 | 5.7 | 9.4 | 13.9 | 13.3 | 12.6 | 13.8 | 15.6 | |
| 25年 | 4,242 | 14 | 45 | 75 | 138 | 158 | 223 | 229 | 292 | 464 | 680 | 603 | 539 | 782 | |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.3 | 1.1 | 1.8 | 3.3 | 3.7 | 5.3 | 5.4 | 6.9 | 10.9 | 16.0 | 14.2 | 12.7 | 18.4 | |
| 増減率 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 20.4 | △ 17.8 | | | △ 33.0 | △ 11.0 | △ 31.3 | △ 41.6 | △ 39.3 | △ 2.1 | △ 17.5 | △ 32.4 | △ 19.7 | 14.1 | |
| 25年/20年 (%) | △ 20.7 | △ 39.1 | △ 23.7 | △ 35.3 | △ 10.4 | △ 32.5 | △ 12.5 | △ 24.9 | △ 41.9 | △ 37.8 | △ 4.5 | △ 10.3 | △ 27.2 | △ 6.1 | |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

表3 年齢階層別自家漁業就業者数（湖沼漁業）

| 区 分 | 計 | 男 | | | | | 女 | | | | | 計 | | | |
|-------------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--|
| | | 15～19歳 | 20～24 | 25～29 | 30～34 | 35～39 | 40～44 | 45～49 | 50～54 | 55～59 | 60～64 | 65～69 | 70～74 | 75歳以上 | |
| 平成15年 | 4,458 | 149 | | | 129 | 179 | 221 | 314 | 527 | 516 | 644 | 744 | 636 | 399 | |
| 構成比 (%) | 100.0 | 3.3 | | | 2.9 | 4.0 | 5.0 | 7.0 | 11.8 | 11.6 | 14.4 | 16.7 | 14.3 | 9.0 | |
| 20年 | 3,896 | 6 | 30 | 73 | 112 | 147 | 208 | 234 | 328 | 536 | 554 | 555 | 579 | 534 | |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.2 | 0.8 | 1.9 | 2.9 | 3.8 | 5.3 | 6.0 | 8.4 | 13.8 | 14.2 | 14.2 | 14.9 | 13.7 | |
| 25年 | 3,296 | 10 | 31 | 46 | 80 | 131 | 161 | 213 | 245 | 347 | 528 | 493 | 468 | 543 | |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.3 | 0.9 | 1.4 | 2.4 | 4.0 | 4.9 | 6.5 | 7.4 | 10.5 | 16.0 | 15.0 | 14.2 | 16.5 | |
| 増減率 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 12.6 | △ 26.8 | | | △ 13.2 | △ 17.9 | △ 5.9 | △ 25.5 | △ 37.8 | 3.9 | △ 14.0 | △ 25.4 | △ 9.0 | 33.8 | |
| 25年/20年 (%) | △ 15.4 | 66.7 | 3.3 | △ 37.0 | △ 28.6 | △ 10.9 | △ 22.6 | △ 9.0 | △ 25.3 | △ 35.3 | △ 4.7 | △ 11.2 | △ 19.2 | 1.7 | |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

2 これまでの年齢階層区分による把握結果は、行政施策等において具体的にどのように活用されたのか。また、出生年月による把握によって、具体的にどのような利活用が見込まれるのか。

- 1 年齢階層別漁業就業者数など、漁業における年齢階層別の労働力の現状と経年比較によりその動向を明らかにし、水産基本計画策定の議論等において基礎資料として利用されている。
- 2 漁業者の減少・高齢化の進行など、水産物の生産体制が脆弱化する中で、経営主、漁業に従事する者等の年齢構成だけでなく、出生年月の把握により平均年齢を算出することが可能となることで、漁業就業者の育成・確保や高齢化対策等の労働力対策の基礎資料としての活用を見込んでいる。

(イ)「自家漁業の従事日数」を把握する調査項目の追加〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）〕
 (論点_審査メモP5) [1-(2)-イ-(イ)-1]

1 これまで把握していた海上作業日数はどのような結果であったか。

漁業経営体調査における、海上作業の従事日数別の漁業就業者（自家漁業のみ）数の推移は、以下のとおり。

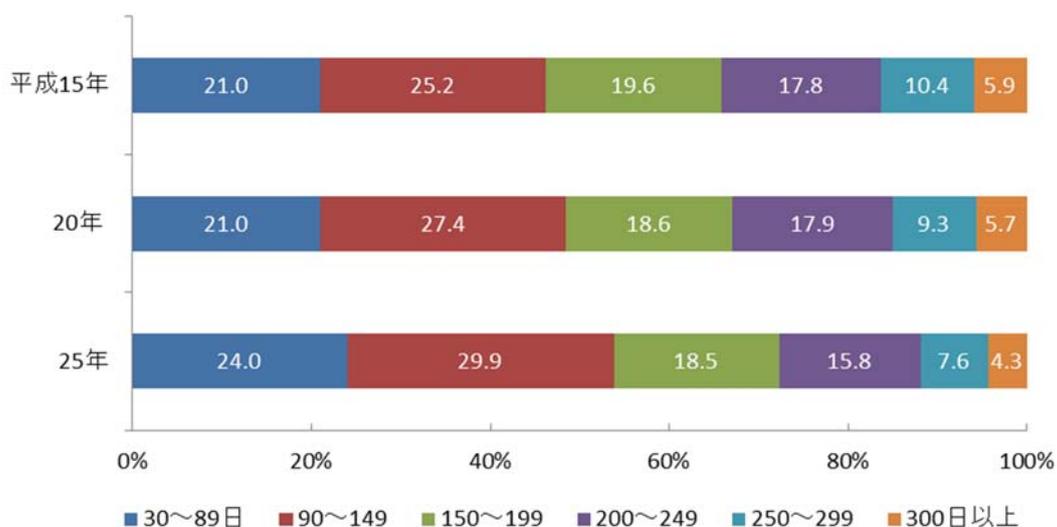
表 海上作業従事日数別漁業就業者（自家漁業のみ）数

| 区分 | | 計 | 30～89日 | 90～149 | 150～199 | 200～249 | 250～299 | 300日以上 |
|---------|---------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|
| 平成15年 | | 169,071 | 35,427 | 42,627 | 33,187 | 30,157 | 17,628 | 10,045 |
| | 構成比 (%) | 100.0 | 21.0 | 25.2 | 19.6 | 17.8 | 10.4 | 5.9 |
| 20年 | | 141,053 | 29,691 | 38,653 | 26,274 | 25,300 | 13,152 | 7,983 |
| | 構成比 (%) | 100.0 | 21.0 | 27.4 | 18.6 | 17.9 | 9.3 | 5.7 |
| 25年 | | 109,247 | 26,182 | 32,628 | 20,202 | 17,224 | 8,311 | 4,700 |
| | 構成比 (%) | 100.0 | 24.0 | 29.9 | 18.5 | 15.8 | 7.6 | 4.3 |
| 増減率 | | | | | | | | |
| 20年/15年 | (%) | △ 16.6 | △ 16.2 | △ 9.3 | △ 20.8 | △ 16.1 | △ 25.4 | △ 20.5 |
| 25年/20年 | (%) | △ 22.5 | △ 11.8 | △ 15.6 | △ 23.1 | △ 31.9 | △ 36.8 | △ 41.1 |

単位：人

資料：農林水産省「漁業センサス」より

図 海上作業従事日数別の漁業就業者（自家漁業のみ）の構成比の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」より

2 従来の「自家漁業の海上作業日数」の結果は、行政施策等において具体的にどのように利活用されたのか。また、今回の新たな追加項目による把握結果は、具体的にどのような利活用が見込まれるのか。

1 自家漁業の海上作業日数については、海上作業従事日数別漁業就業者数等の個人経営体における世帯員の漁業従事状況を明らかにする調査項目である。この調査項目により明らかになる統計は、労働条件の改善や新規漁業就業者の支援施策などの企画・立案のための基礎資料として活用されている。

2 新たに追加する「自家漁業の従事日数」については、これまでの「自家漁業の海上作業日数」に加え、陸上作業も含めた自家漁業に係る労働日数の把握が可能となるため、ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働条件の改善や漁業就業者対策などの企画・立案に一層の利活用が見込まれる。

3 「陸上作業」は、具体的にどのように定義されるのか。報告者にとって紛れのないものとなっているか。

- 1 漁業経営体調査における陸上作業は、以下のとおり定義している。
漁業に係る作業のうち、海上作業以外のすべての作業をいい、具体的には次のようなものをいう。
 - ア 漁船、漁網等の生産手段の修理・整備（停泊中の漁船上で行った場合も含まれます。）
 - イ 漁具、漁網、食料品の積み込み作業
 - ウ 出港・入港（帰港）時の漁船の引き下ろし、引き上げ
 - エ 悪天時の出漁待機
 - オ 餌の仕入れ及び調餌作業
 - カ 真珠の核入れ作業、真珠の採取作業、貝掃除作業、貝のむき身作業、のり・わかめの干し作業
 - キ 漁獲物を出荷するまでの運搬、箱詰め等の作業
 - ク 自家生産物を主たる原料とした水産加工品の製造・加工作業
ただし、同一構内（屋敷内）に工場、作業所とみられるものがあり、その製造活動に専従の常時従業者を使用しているときは、漁業の陸上作業ではなく、漁業以外の自営業（水産加工）となる。
 - ケ 自家漁業の管理運營業務（指揮監督、技術講習、経理・計算、帳簿管理）
- 2 陸上作業に関しては、これまでも調査項目としており、上記の定義を、調査票とは別に、作成し配布する「調査票の記入の仕方」に記載しており、報告者が紛れなく回答できるものとなっている。

4 今年7月に実施した2018年漁業センサス試行調査(以下「試行調査」という。)における本調査項目の記入状況はどうか。懸念するようなことはなかったか。

2018年漁業センサス試行調査における、自家漁業の従事日数の記入状況は、以下のとおり。調査対象が適切に回答した割合が94.0%となっており、当該調査項目は、概ね適切と考えている。

また、記入誤りや記入漏れの6.0%についても調査員又は市町職員によりすべて補正されており、支障はないものと見込んでいるが、記入の仕方を工夫するなど、一層の正確な記入を促していきたいと考えている。

表 漁業経営体調査票Ⅰ(個人経営体用)の記入・補正状況

単位：%

| 新規及び変更項目 | 調査対象が適切に回答 | 調査員や職員が補正 |
|------------|------------|-----------|
| I 世帯について | | |
| ⑫自家漁業の従事日数 | 94.0 | 6.0 |

資料：農林水産省「2018年漁業センサス試行調査結果」より

(ウ) 経営方針の決定への関わりの有無を把握する調査項目の追加

〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）及び内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）〕

（論点_審査メモP6）

[1-(2)-イ-(ウ)-1]

1 本調査項目の結果は、具体的にどのような利活用が見込まれているか。

経営方針の決定に携わっている世帯員の調査項目については、

- ① 経営方針を経営主とともに、何人で決定しているのか
- ② 経営方針の決定に携わっている世帯員の性別はどうなっているか。
- ③ 経営方針の決定に携わっている世帯員の経営主との属性（配偶者、子ども）はどうなっているのか

等が明らかになり、経営の発展性や、リーダーの育成、漁村で活躍する女性の育成など、様々な漁業就業者対策の企画・立案における基礎資料としての活用を見込んでいる。

2 本調査項目追加の背景の一つである、女性や新規の漁業就業者の状況について、本調査結果から、これまでどのような実態が把握されているのか。

1 漁業センサスでは、男女別年齢階層別漁業就業者数や男女別の陸上作業従事者数等を作成している。漁業就業者や陸上作業従事者に占める女性の割合の変化を見ると(表1)、5年前と比べ、漁業就業者も陸上作業従事者も女性の占める割合が低くなっている実態が把握されている。

表1 漁業就業者数及び陸上作業最盛期の陸上作業従事者数の推移(海面漁業)

単位：人

| 区 分 | 漁業就業者数 | | | 陸上作業最盛期の陸上作業従事者数 | | |
|--------------------|---------|---------|--------|------------------|---------|---------|
| | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 |
| 平成20年 | 221,908 | 187,820 | 34,088 | 313,072 | 190,703 | 122,369 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 84.6 | 15.4 | 100.0 | 60.9 | 39.1 |
| 平成25年 | 180,985 | 157,117 | 23,868 | 253,261 | 155,993 | 97,268 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 86.8 | 13.2 | 100.0 | 61.6 | 38.4 |
| 増減率 25年/20年 (%) | △ 18.4 | △ 16.3 | △ 30.0 | △ 19.1 | △ 18.2 | △ 20.5 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

2 新規漁業就業者については、都道府県別に統計を作成している。その推移を見ると(表2)、雇われ就業を中心に、年間約1,600人の新規就業者が確保されている。

表2 新規就業者数の推移(海面漁業)

単位：人

| 区 分 | 新 規 就 業 者 | | |
|--------------------|-----------|------------------|--------------|
| | 計 | 個人経営体の 自家漁業のみ | 漁 業 雇 わ れ |
| 平成20年 | 1,784 | 742 | 1,042 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 41.6 | 58.4 |
| 平成25年 | 1,649 | 615 | 1,034 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 37.3 | 62.7 |
| 増減率 25年/20年 (%) | △ 7.6 | △ 17.1 | △ 0.8 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

(エ) 使用した漁船の大きさを把握する調査項目の削除〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）〕
 (論点_審査メモP6) [1-(2)-イ-(エ)-1]

1 本調査項目について、データ面での経年変化はどうなっているか。

本調査項目（漁船のトン数）と自家漁業の海上作業に従事した日数の最も多かった漁業種類により、沿岸と沖合・遠洋の操業水域別に区分した漁業就業者（自家漁業のみ）数の統計を作成しており、その推移は、以下のとおり。

表 沿岸、沖合・遠洋別漁業就業者数（自家漁業のみ）

単位：人

| 区分 | 計 | 沿岸漁業 就業者 | うち、10トン 以上の漁船に 乗り込んだ者 | 沖合・遠洋 漁業就業者 |
|-------------|---------|-------------|-----------------------------|----------------|
| 平成15年 | 169,071 | 165,990 | 1,934 | 3,081 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 98.2 | 1.2 | 1.8 |
| 20年 | 141,053 | 138,235 | 1,779 | 2,818 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 98.0 | 1.3 | 2.0 |
| 25年 | 109,247 | 106,888 | 1,430 | 2,359 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 97.8 | 1.3 | 2.2 |
| 増減率 | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 16.6 | △ 16.7 | △ 8.0 | △ 8.5 |
| 25年/20年 (%) | △ 22.5 | △ 22.7 | △ 19.6 | △ 16.3 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

(論点_審査メモP6) [1-(2)-イ-(エ)-2]

2 本調査項目から得られたデータは、行政施策等において具体的にどのように利活用されていたのか。また、削除しても支障等は生じないか。

- 1 沿岸、沖合・遠洋に区分した漁業就業者（自家漁業のみ）数は、操業水域ごとの操業規制への対策等の基礎データとして活用されてきたところ。
- 2 本調査項目を削除するが、自家漁業のみの就業者の沿岸、沖合・遠洋に区分については、基幹統計調査である海面漁業生産統計調査の分類と同様、漁業種類を使って分類ことが可能であるため、これまでとほぼ同様の統計表は提供可能であることから、支障はないと見込んでいる。

ウ 海上作業に雇った人に関する調査事項の変更〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）〕

（論点_審査メモP8）

[1-(2)-ウ-1]

1 本調査項目について、データ面での経年変化はどうなっているか。

海面における、11月1日現在の海上作業従事者数の推移は、以下のとおり。

表 11月1日現在の海上作業従事者数

| 区分 | 合計 | 家 族 | | | 雇 用 者 | | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------|--------|
| | | 計 | 男 | 女 | 計 | 日 本 人 | | | | 外 国 人 |
| | | | | | | 小 計 | 同一市町村 | 同一県内の 他市町村 | 県 外 | |
| 平成15年 | 264,554 | 185,525 | … | … | 79,029 | 71,553 | 55,488 | 8,885 | 7,180 | 7,476 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 70.1 | - | - | 29.9 | 90.5 | 77.5 | 12.4 | 10.0 | 9.5 |
| 20年 | 217,107 | 125,962 | 104,454 | 21,508 | 91,145 | 84,975 | 73,297 | 6,630 | 5,048 | 6,170 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 58.0 | 82.9 | 17.1 | 42.0 | 93.2 | 86.3 | 7.8 | 5.9 | 6.8 |
| 25年 | 177,728 | 95,414 | 81,181 | 14,233 | 82,314 | 76,108 | 65,576 | 6,437 | 4,095 | 6,206 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 53.7 | 85.1 | 14.9 | 46.3 | 92.5 | 86.2 | 8.5 | 5.4 | 7.5 |
| 増減率 | | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 17.9 | △ 32.1 | - | - | 15.3 | 18.8 | 32.1 | △ 25.4 | △ 29.7 | △ 17.5 |
| 25年/20年 (%) | △ 18.1 | △ 24.3 | △ 22.3 | △ 33.8 | △ 9.7 | △ 10.4 | △ 10.5 | △ 2.9 | △ 18.9 | 0.6 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

（論点_審査メモP8）

[1-(2)-ウ-2]

2 本調査項目から得られたデータは、行政施策等において、具体的にどのように利活用されていたのか。また、本調査項目を削除しても支障等は生じないか。

- 1 漁業における雇用者の地域的居住範囲を明らかにすることにより、漁業経営体における雇用者確保の現状を把握する基礎資料としてこれまで利用されてきた。
- 2 雇用者の確保は他産業との競合もあり、居住地域に区分することなく必要などころに必要な雇用を確保していくことが重要となっており行政の利活用も低下していることから、本調査項目を削除しても支障はないと見込んでいる。

エ 漁ろう長、船長等の役職者に関する調査事項を追加等〔漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）〕

（論点_審査メモP9）

[1-(2)-エ-1]

1 個人経営体において各世帯員の漁業への従事状況等を把握していた中、団体経営体ではこれまで把握していなかった理由は何か。また、今回、役員や役職者に限定して、属性や漁業への従事状況等を把握する理由は何か。

1 これまでの漁業センサスでは、個人経営体においては内部労働である世帯員の漁業への従事状況等と雇用者の数を把握する一方、団体経営体においては従事者として内部労働と雇用者を含め全体の数のみを把握してきた。これは、沿岸漁業等振興法（昭和38年法律第165号）の下で、「沿岸漁業等の従事者が他産業従事者と均衡する生活を営むことを期することができることを目途として、その地位の向上を図ることを目的」として、各種施策が実施されていたことから、漁家（個人経営体及び漁業従事者世帯（注））の世帯員についてのみ漁業への従事状況等を詳細に明らかにする必要があるためである。

注：漁業従事者世帯の調査は、2003年漁業センサスを最後に廃止した。

2 また、今回から団体経営体の役員や役職者に限定して、属性や漁業への従事状況等を把握することについては、水産資源の適切な管理を行いつつ、漁業の成長産業化を強力に推し進めていく中で、漁業経営を担う人材の確保等への施策の基礎資料として活用して行くためには、

- ① 労働力の確保や漁業経営体への定着に大きな違いがある内部労働者と雇用者について、これまで片手落ちとなっていた団体経営体について改善を図り、内部労働者である役員を従事者から分離して、個人経営体の内部労働者である世帯員と同様に、人ごとに漁業への従事状況を把握し、漁業経営全体としての就業構造を統一的に明らかにすること
- ② 漁業者の高齢化及び減少に伴う人材不足により、漁業を経営する上で欠くことのできない船長や機関長等の海技免状保持者、豊富な知識や経験が必要な漁ろう長や養殖場長について、その確保が困難な状況となっていることを踏まえ、団体経営体における内部労働者、雇用者の把握を通じて、これらの役職者の漁業への従事状況等を明らかにすることが不可欠であり、これに対応するための措置である。

(参 考)

| 区 分 | 団体経営体 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|--|-----------|-----------------------|-----------|----------------|-----------------|-----|-------------------------------|---------|----------|-----------|-------------|----|-----------------|-------------|----|---------------|---------|---------------|---------|-----------------|------|-----|-----------|------|----|-----------|----|-----------|----|----|----|---|---|---|---|---|----------------|----------------|---|---|---|---|---|-------------|---|---|-------------|--|--|--|--|--|--|----------|--|-------------|----------|--|-------------|--|-----|-------------|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|--------|-----|---|---|---|---|-------|-----|---|---|---|---|
| 団体経営体の内部労働力 | <p>1 過去1年間に漁業に従事した人のうち、海上作業や陸上作業に責任のある者（役員（支配人や代理を委任された者を含む）の漁業従事状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">経営主</th> <th colspan="7">海上作業において責任のある者（役員に限る）</th> <th rowspan="2">性別</th> <th rowspan="2">出生の年月</th> <th colspan="2">漁業従事日数</th> <th colspan="3">海上作業日数が多かった漁業種類</th> <th rowspan="2">10月下旬に海上作業に従事</th> <th rowspan="2">陸上作業に従事</th> </tr> <tr> <th>漁ろう長</th> <th>船長</th> <th>機関長</th> <th>養殖場長</th> <th>その他</th> <th>の職についている者</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>うち、海上作業日数</th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>⑥</th> <th>⑦</th> <th>⑧</th> <th colspan="2">⑨ 該当する元号と年月を記入</th> <th>⑩</th> <th>⑪</th> <th>⑫</th> <th>⑬</th> <th>⑭</th> <th>⑮</th> <th>⑯</th> </tr> <tr> <th colspan="10">該当するすべてにマーク</th> <th colspan="2">いづれかにマーク</th> <th colspan="3">全国漁業種類番号を記入</th> <th colspan="2">該当するすべてにマーク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>601</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>602</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </tbody> </table> | 経営主 | 海上作業において責任のある者（役員に限る） | | | | | | | 性別 | 出生の年月 | 漁業従事日数 | | 海上作業日数が多かった漁業種類 | | | 10月下旬に海上作業に従事 | 陸上作業に従事 | 漁ろう長 | 船長 | 機関長 | 養殖場長 | その他 | の職についている者 | 男 | 女 | うち、海上作業日数 | 1位 | 2位 | 3位 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ 該当する元号と年月を記入 | | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | 該当するすべてにマーク | | | | | | | | | | いづれかにマーク | | 全国漁業種類番号を記入 | | | 該当するすべてにマーク | | 601 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 602 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経営主 | 海上作業において責任のある者（役員に限る） | | | | | | | 性別 | 出生の年月 | | | 漁業従事日数 | | 海上作業日数が多かった漁業種類 | | | | | 10月下旬に海上作業に従事 | 陸上作業に従事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 漁ろう長 | 船長 | 機関長 | 養殖場長 | その他 | の職についている者 | 男 | | | 女 | うち、海上作業日数 | 1位 | 2位 | 3位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ 該当する元号と年月を記入 | | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 該当するすべてにマーク | | | | | | | | | | いづれかにマーク | | 全国漁業種類番号を記入 | | | 該当するすべてにマーク | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 601 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 602 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 団体経営体の外部労働力 (海上作業) | <p>2 11月1日現在の海上作業に雇った人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日本人</th> <th>うち、過去1年以内に漁業を始めた人</th> <th>外国人</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> </tr> <tr> <th colspan="3">千 百 十 (人) 千 百 十 (人) 千 百 十 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>211</td> <td>.</td><td>.</td><td>.</td> </tr> </tbody> </table> <p>①の日本人のうち、役職の者について記入</p> <p>①の日本人のうち、役職以外の者で、30日以上海上作業を行った者について記入</p> <p>3-1 2のうち、役職（漁ろう長、船長、機関長、養殖場長）の者（雇用に限る）の漁業従事状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">役 職</th> <th colspan="2">性別</th> <th rowspan="2">出生の年月</th> <th colspan="2">漁業従事日数</th> <th colspan="3">海上作業日数が多かった漁業種類</th> <th rowspan="2">陸上作業に従事</th> </tr> <tr> <th>漁ろう長</th> <th>船長</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>うち、海上作業日数</th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th colspan="2">⑥ 該当する元号と年月を記入</th> <th>⑦</th> <th>⑧</th> <th>⑨</th> <th>⑩</th> <th>⑪</th> </tr> <tr> <th colspan="10">該当するすべてにマーク</th> <th colspan="2">いづれかにマーク</th> <th colspan="3">全国漁業種類番号を記入</th> <th colspan="2">該当するすべてにマーク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>651</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>652</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 ①の日本人のうち、役職以外の者で、30日以上海上作業を行った人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">男</th> <th colspan="2">女</th> </tr> <tr> <th>計</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計</td> <td>221</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>15～19歳</td> <td>222</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>20～24歳</td> <td>223</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>25～29歳</td> <td>224</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>30～34歳</td> <td>225</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>35～39歳</td> <td>226</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>40～44歳</td> <td>227</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>45～49歳</td> <td>228</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>50～54歳</td> <td>229</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>55～59歳</td> <td>230</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>60～64歳</td> <td>231</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>65～69歳</td> <td>232</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>233</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>75歳以上</td> <td>234</td> <td>.</td><td>.</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> </tbody> </table> | 日本人 | うち、過去1年以内に漁業を始めた人 | 外国人 | ① | ② | ③ | 千 百 十 (人) 千 百 十 (人) 千 百 十 (人) | | | 211 | . | . | . | 役 職 | 性別 | | 出生の年月 | 漁業従事日数 | | 海上作業日数が多かった漁業種類 | | | 陸上作業に従事 | 漁ろう長 | 船長 | 男 | 女 | うち、海上作業日数 | 1位 | 2位 | 3位 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ 該当する元号と年月を記入 | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | 該当するすべてにマーク | | | | | | | | | | いづれかにマーク | | 全国漁業種類番号を記入 | | | 該当するすべてにマーク | | 651 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 652 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 男 | | 女 | | 計 | 男 | 女 | 計 | 計 | 221 | . | . | . | . | 15～19歳 | 222 | . | . | . | . | 20～24歳 | 223 | . | . | . | . | 25～29歳 | 224 | . | . | . | . | 30～34歳 | 225 | . | . | . | . | 35～39歳 | 226 | . | . | . | . | 40～44歳 | 227 | . | . | . | . | 45～49歳 | 228 | . | . | . | . | 50～54歳 | 229 | . | . | . | . | 55～59歳 | 230 | . | . | . | . | 60～64歳 | 231 | . | . | . | . | 65～69歳 | 232 | . | . | . | . | 70～74歳 | 233 | . | . | . | . | 75歳以上 | 234 | . | . | . | . |
| 日本人 | うち、過去1年以内に漁業を始めた人 | 外国人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① | ② | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 千 百 十 (人) 千 百 十 (人) 千 百 十 (人) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 211 | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 役 職 | 性別 | | 出生の年月 | 漁業従事日数 | | 海上作業日数が多かった漁業種類 | | | 陸上作業に従事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 漁ろう長 | 船長 | | 男 | 女 | うち、海上作業日数 | 1位 | 2位 | | 3位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ 該当する元号と年月を記入 | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 該当するすべてにマーク | | | | | | | | | | いづれかにマーク | | 全国漁業種類番号を記入 | | | 該当するすべてにマーク | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 651 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 652 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | | 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 男 | 女 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 221 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15～19歳 | 222 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20～24歳 | 223 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25～29歳 | 224 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30～34歳 | 225 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35～39歳 | 226 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40～44歳 | 227 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 45～49歳 | 228 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 50～54歳 | 229 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 55～59歳 | 230 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60～64歳 | 231 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 65～69歳 | 232 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 70～74歳 | 233 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 75歳以上 | 234 | . | . | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 団体経営体の外部労働力 (陸上作業) | <p>4 過去1年間の漁業の陸上作業について、最盛期に雇った人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">千 百 十 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計</td> <td>241</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>242</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>243</td> <td>.</td><td>.</td> </tr> </tbody> </table> | | | 千 百 十 (人) | | 計 | 241 | . | . | 男 | 242 | . | . | 女 | 243 | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 千 百 十 (人) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 241 | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男 | 242 | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女 | 243 | . | . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2 本調査事項から得られるデータは、行政施策等において具体的にどのような利活用が見込まれるのか。(従事した漁業種類の海上作業日数上位3位までの情報を把握することによって、行政施策等への利用面においてどのような利活用が見込まれ、また、得られる情報において有用性を有するのか。) また、調査項目の削除による支障等は生じないか。

- 1 新たな水産基本計画(平成29年4月28日閣議決定)においては、水産に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策の一つとして「国際競争力のある漁業経営体の育成とこれを担う人材の確保」が掲げられている。
- 2 今後、水産資源の適切な管理を行いつつ、漁業の成長産業化を強力に推し進めていく中で、漁業経営体の育成や経営の安定に向けた施策並びに漁業者等(雇用を含む。)の安定的な確保を図るための施策が進められることとなるが、本調査事項から得られるデータが、その施策の企画・立案及び効果の検証のための基礎資料としての活用を見込んでいる。
- 3 また、雇用者の確保は他産業との競合もあり、居住地域に区分することなく必要などころに必要な雇用を確保していくことが重要となっており行政の利活用も低下していることから、本調査項目を削除しても支障はないと見込んでいる。

オ 漁業の操業状況や経営状況を把握する調査事項の変更

(ア) 世帯員の漁業従事者に関する事項

「自家漁業の海上作業日数の多かった漁業種類」を把握する調査項目の変更

〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）〕

(論点_審査メモP10)

[1-(2)-オ-(ア)-1]

1 本調査項目について、データ面での経年変化はどうなっているか。

漁業経営体調査における、主として従事した漁業種類別漁業就業者（自家漁業のみ）数の推移は、以下のとおり。

表 主として従事した漁業種類別漁業就業者数（自家漁業のみ）

単位：人

| 区分 | 計 | 底びき網 | | | 船びき網 | まき網 | | | |
|-------------|---------|-----------------------|------------|------------|--------|--------------------|--------------------|--------------|--------|
| | | 遠洋底びき網 ・ 以西底びき網 | 沖合 底びき網 | 小型 底びき網 | | 大中型まき網 | | | |
| | | | | | | 1そうまき遠洋 かつお・まぐろ | 1そうまき近海 かつお・まぐろ | 1そうまき その他 | 2そうまき |
| 平成15年 | 169,071 | - | 164 | 11,786 | 3,245 | - | - | 3 | 2 |
| 構成比 (%) | 100.0 | - | 0.1 | 7.0 | 1.9 | - | - | 0.0 | 0.0 |
| 20年 | 141,053 | 1 | 185 | 10,010 | 2,773 | - | - | 2 | 2 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.0 | 0.1 | 7.1 | 2.0 | - | - | 0.0 | 0.0 |
| 25年 | 109,247 | - | 101 | 7,726 | 2,338 | - | - | 2 | 1 |
| 構成比 (%) | 100.0 | - | 0.1 | 7.1 | 2.1 | - | - | 0.0 | 0.0 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 16.6 | - | 12.8 | △ 15.1 | △ 14.5 | - | - | △ 33.3 | 0.0 |
| 25年/20年 (%) | △ 22.5 | △ 100.0 | △ 45.4 | △ 22.8 | △ 15.7 | - | - | 0.0 | △ 50.0 |

(つづき)

| 区分 | まき網(つづき) | 刺網 | | | さんま 棒受網 | 大型定置網 | さけ定置網 | 小型定置網 | その他の 網漁業 |
|-------------|-------------|--------------|-------------|------------|------------|--------|-------|--------|-------------|
| | 中・小型 まき網 | さけ・ます 流し網 | かじき等 流し網 | その他の 刺網 | | | | | |
| 平成15年 | 395 | 24 | 25 | 26,872 | 135 | 154 | 55 | 5,328 | 1,598 |
| 構成比 (%) | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 15.9 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 3.2 | 0.9 |
| 20年 | 315 | 23 | 31 | 20,941 | 129 | 125 | 91 | 4,166 | 2,103 |
| 構成比 (%) | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 14.8 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 3.0 | 1.5 |
| 25年 | 272 | 14 | 18 | 15,703 | 93 | 105 | 103 | 3,154 | 1,817 |
| 構成比 (%) | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 14.4 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 2.9 | 1.7 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 20.3 | △ 4.2 | 24.0 | △ 22.1 | △ 4.4 | △ 18.8 | 65.5 | △ 21.8 | 31.6 |
| 25年/20年 (%) | △ 13.7 | △ 39.1 | △ 41.9 | △ 25.0 | △ 27.9 | △ 16.0 | 13.2 | △ 24.3 | △ 13.6 |

(つづき)

| 区分 | はえ縄 | | | | 釣 | | | | |
|-------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|---------|--------|
| | 遠洋まぐろ はえ縄 | 近海まぐろ はえ縄 | 沿岸まぐろ はえ縄 | その他の はえ縄 | 遠洋かつお 一本釣 | 近海かつお 一本釣 | 沿岸かつお 一本釣 | 遠洋いか釣 | 近海いか釣 |
| 平成15年 | 19 | 203 | 322 | 4,193 | 7 | 23 | 169 | - | 35 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | - | 0.0 |
| 20年 | 2 | 164 | 341 | 3,559 | 6 | 22 | 310 | 1 | 27 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 |
| 25年 | 2 | 124 | 311 | 2,689 | 5 | 8 | 215 | - | 18 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | - | 0.0 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 89.5 | △ 19.2 | 5.9 | △ 15.1 | △ 14.3 | △ 4.3 | 83.4 | - | △ 22.9 |
| 25年/20年 (%) | 0.0 | △ 24.4 | △ 8.8 | △ 24.4 | △ 16.7 | △ 63.6 | △ 30.6 | △ 100.0 | △ 33.3 |

(つづき)

単位：人

| 区分 | 釣(つづき) | | | 小型捕鯨 | 潜水器漁業 | 採貝・採藻 | その他の漁業 | 海面養殖 | |
|-------------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 沿岸いか釣 | ひき縄釣 | その他の釣 | | | | | 魚類養殖 | |
| | | | | | | | | ぎんざけ養殖 | ぶり類養殖 |
| 平成15年 | 5,925 | 3,371 | 26,663 | 1 | 1,357 | 25,784 | 12,223 | 123 | 1,259 |
| 構成比 (%) | 3.5 | 2.0 | 15.8 | 0.0 | 0.8 | 15.3 | 7.2 | 0.1 | 0.7 |
| 20年 | 4,973 | 3,144 | 20,032 | - | 1,139 | 24,406 | 10,069 | 130 | 802 |
| 構成比 (%) | 3.5 | 2.2 | 14.2 | - | 0.8 | 17.3 | 7.1 | 0.1 | 0.6 |
| 25年 | 3,874 | 2,828 | 16,503 | - | 915 | 18,300 | 8,876 | 2 | 605 |
| 構成比 (%) | 3.5 | 2.6 | 15.1 | - | 0.8 | 16.8 | 8.1 | 0.0 | 0.6 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 16.1 | △ 6.7 | △ 24.9 | △ 100.0 | △ 16.1 | △ 5.3 | △ 17.6 | 5.7 | △ 36.3 |
| 25年/20年 (%) | △ 22.1 | △ 10.1 | △ 17.6 | - | △ 19.7 | △ 25.0 | △ 11.8 | △ 98.5 | △ 24.6 |

| 区分 | 海面養殖(つづき) | | | | | | | | |
|-------------|-----------|--------|--------|----------|---------|--------|----------|---------|--------|
| | 魚類養殖(つづき) | | | | ほたてがい養殖 | かき類養殖 | その他の貝類養殖 | くるまえば養殖 | ほや類養殖 |
| | まだい養殖 | ひらめ養殖 | まぐろ類養殖 | その他の魚類養殖 | | | | | |
| 平成15年 | 1,466 | 252 | ... | 621 | 7,540 | 5,359 | 257 | 41 | 349 |
| 構成比 (%) | 0.9 | 0.1 | - | 0.4 | 4.5 | 3.2 | 0.2 | 0.0 | 0.2 |
| 20年 | 1,001 | 144 | 20 | 390 | 6,507 | 4,475 | 292 | 47 | 400 |
| 構成比 (%) | 0.7 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 4.6 | 3.2 | 0.2 | 0.0 | 0.3 |
| 25年 | 687 | 70 | 20 | 316 | 4,637 | 2,746 | 366 | 36 | 133 |
| 構成比 (%) | 0.6 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 4.2 | 2.5 | 0.3 | 0.0 | 0.1 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 31.7 | △ 42.9 | - | △ 37.2 | △ 13.7 | △ 16.5 | 13.6 | 14.6 | 14.6 |
| 25年/20年 (%) | △ 31.4 | △ 51.4 | 0.0 | △ 19.0 | △ 28.7 | △ 38.6 | 25.3 | △ 23.4 | △ 66.8 |

| 区分 | 海面養殖(つづき) | | | | | | |
|-------------|-------------|--------|--------|--------|-----------|--------|--------|
| | その他の水産動物類養殖 | こんぶ類養殖 | わかめ類養殖 | のり類養殖 | その他の海藻類養殖 | 真珠養殖 | 真珠母貝養殖 |
| | | | | | | | |
| 平成15年 | 100 | 1,857 | 3,599 | 11,704 | 628 | 2,752 | 1,083 |
| 構成比 (%) | 0.1 | 1.1 | 2.1 | 6.9 | 0.4 | 1.6 | 0.6 |
| 20年 | 137 | 2,044 | 3,097 | 9,192 | 625 | 1,924 | 734 |
| 構成比 (%) | 0.1 | 1.4 | 2.2 | 6.5 | 0.4 | 1.4 | 0.5 |
| 25年 | 119 | 1,456 | 2,623 | 7,030 | 630 | 1,237 | 419 |
| 構成比 (%) | 0.1 | 1.3 | 2.4 | 6.4 | 0.6 | 1.1 | 0.4 |
| 増減率 | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | 37.0 | 10.1 | △ 13.9 | △ 21.5 | △ 0.5 | △ 30.1 | △ 32.2 |
| 25年/20年 (%) | △ 13.1 | △ 28.8 | △ 15.3 | △ 23.5 | 0.8 | △ 35.7 | △ 42.9 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

2 従来の自家漁業の海上作業日数が多かった漁業種類の結果は、行政施策等において具体的にどのように利活用されたのか。また、今回の新たな追加項目による把握結果は、具体的にどのような利活用が見込まれるのか。(上位3位までの情報を把握することによって、行政施策等への利用面においてどのような利活用が見込まれ、また、得られる情報において有用性を有するのか。)

1 どのような漁業種類にどのくらいの者が従事しているかという漁業就業構造の基本となる統計表を作成しており、その結果は、就業対策や経営対策等の各種施策に活用されている。

また、本調査項目である海上作業に従事した日数の最も多かった漁業種類と使用した漁船のトン数により、沿岸、沖合・遠洋といった操業水域別に区分した漁業就業者数の統計を作成しており、その結果は、操業水域毎の操業規制への対策等に活用されている。

2 漁業従事世帯員の海上作業従事日数の多い漁業種類を1位から3位まで把握することで、複数の漁業種類を営む経営体の就業動向が把握でき、資源管理の下での漁業の操業状況の変化を明らかにすることができる。

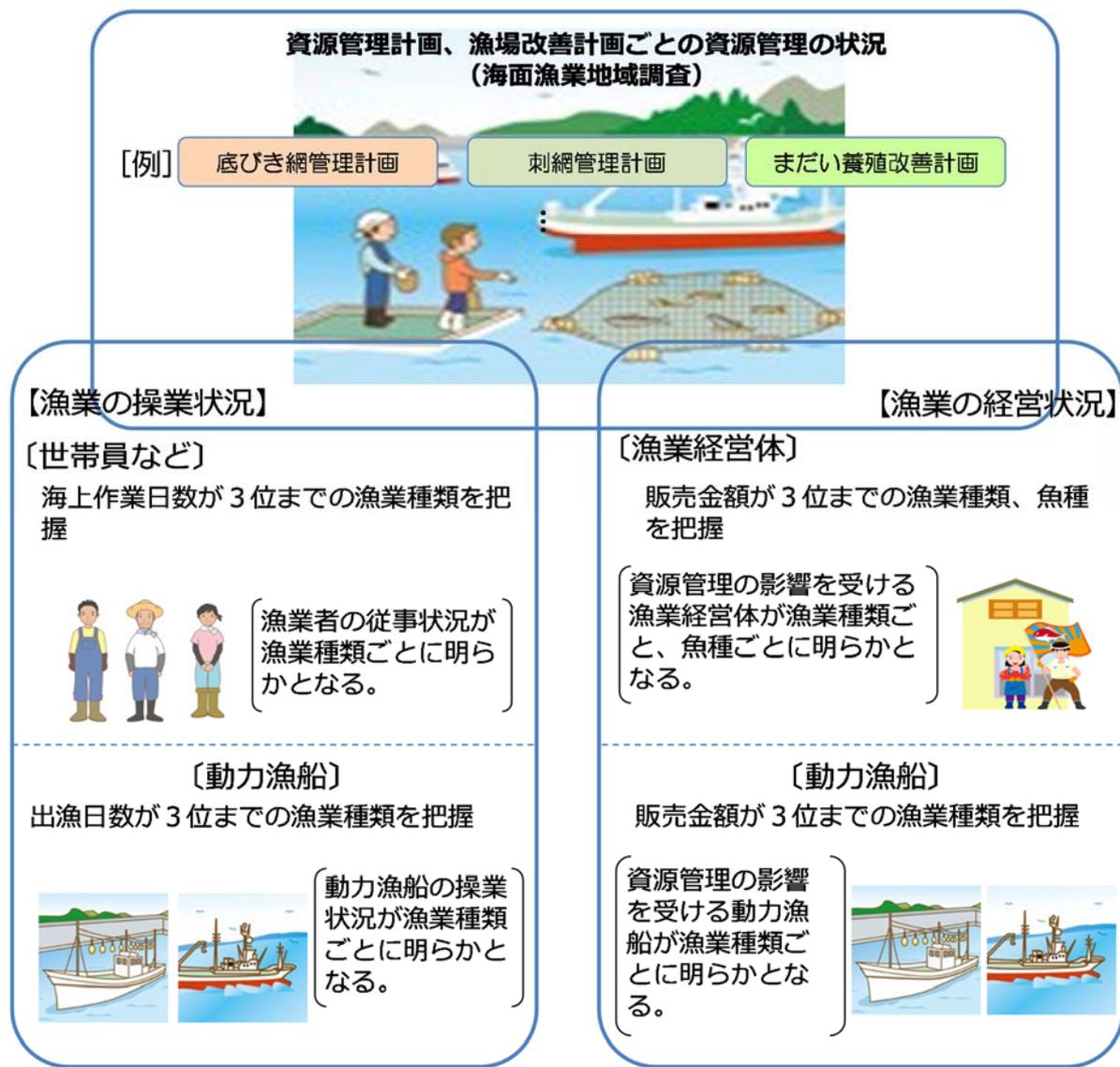
このように、資源管理の下で、漁業経営体が収入の確保や経営の安定を目指して取り組む姿が明らかになるなど、漁業の成長産業化に向けた施策への活用を見込んでいる。

(参 考)

水産資源とそれを育む漁場環境の適切な保全管理が進められる中、資源管理による漁業の操業状況の変化と、その結果としての漁業の経営状況の変化を明らかにする。

このため、取り組む漁業種類1～3位までを把握するとともに、販売金額1～3位まで漁業種類（魚種）を把握する。

これにより、資源管理や安定的な漁業経営の施策に資する。



【行政施策等への利活用の見込み】

- ・ 複数の漁業種類に取り組む経営は、全国各地の漁場条件により千差万別
 - 地域の水産行政にとって貴重な資料として活用
 - 漁業資源の管理や漁業の成長産業化に向けた施策検討への活用
- ・ 少ない投資でより多くの販売金額を得ることができるのかなどを明らかに
 - 所得の向上や経営の安定に関する施策の基礎資料として活用

(イ) 動力漁船に関する調査事項

① 「出漁数日数が多かった漁業種類」を把握する調査項目の追加

〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）及び漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）〕

(論点_審査メモP12)

[1-(2)-オ-(イ)-①]

把握内容を上位3位までとした理由は何か。今回の新たな追加項目による把握結果は、具体的にどのような利活用が見込まれるのか。(上位3位までの情報を把握することによって、行政施策等への利用面においてどのような利活用が見込まれ、また、得られる情報において有用性を有するのか。)

- 1 複数の漁業種類への取組は上位3位までの把握としている。これは、3種類までの漁業種類で複合的に営んでいる経営体が、全体の9割を満たしているためである。
- 2 複数の漁業種類を組み合わせた経営を行う場合には、1つの動力漁船を複数の漁業種類に使用するといった動力漁船の効率的な運用も必要になってくると考えられる。一方で、漁業種類の違いにより、操業のための漁船の装備が異なるといった面もある。
- 3 このため、動力漁船の装備の変更のための投資やドック入りが必要となったり、また、資源管理措置の下での操業規制もあることから、複数の漁業種類をどのように組み合わせるかが大きな課題となる。
こうしたことから、動力漁船の出漁日数の多い1位から3位までの漁業種類を把握することと、これに加えて、その結果としての販売金額の多かった漁業種類を1位から3位まで把握することで、漁業経営の構造実態を捉えていくこととしている。
- 4 複数の漁業種類に取り組む経営は、全国各地の漁場条件により千差万別である。
従って各地域に、動力漁船の出漁日数の多い漁業種類や、販売金額の多かった漁業種類、また、これら漁業種類の複合的な取組が明らかになることは、地域の水産行政にとって貴重な資料であるばかりか、漁業資源の管理や漁業の成長産業化に向けた施策検討の際の活用を見込んでいる。

② 「販売金額が多かった漁業種類」を把握する調査項目の変更

〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）及び漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）〕

（論点_審査メモP12）

[1-(2)-オ-(イ)-②-1]

1 販売金額が多かった漁業種類について、データ面での経年変化はどうなっているか。

海面漁業における、主とする漁業種類別動力漁船隻数の推移は、以下のとおり。

表 主とする漁業種類別動力漁船隻数

単位:隻

| 区分 | 計 | 底びき網 | | | | | 船びき網 | まき網 | |
|-------------|---------|------------|------------|--------|--------|------------|--------|--------------------|--------------------|
| | | 遠洋 底びき網 | 以西 底びき網 | 沖合底びき網 | | 小型 底びき網 | | 大中型まき網 | |
| | | | | 1そうびき | 2そうびき | | | 1そうまき遠洋 かつお・まぐろ | 1そうまき近海 かつお・まぐろ |
| 平成15年 | 114,925 | 19 | 21 | 335 | 80 | 11,638 | 6,028 | 40 | 45 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.1 | 10.1 | 5.2 | 0.0 | 0.0 |
| 20年 | 99,062 | 9 | 11 | 307 | 48 | 10,157 | 5,915 | 46 | 33 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 10.3 | 6.0 | 0.0 | 0.0 |
| 25年 | 81,647 | 7 | 8 | 251 | 35 | 8,310 | 5,173 | 29 | 24 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 10.2 | 6.3 | 0.0 | 0.0 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 13.8 | △ 52.6 | △ 47.6 | △ 8.4 | △ 40.0 | △ 12.7 | △ 1.9 | 15.0 | △ 26.7 |
| 25年/20年 (%) | △ 17.6 | △ 22.2 | △ 27.3 | △ 18.2 | △ 27.1 | △ 18.2 | △ 12.5 | △ 37.0 | △ 27.3 |

(つづき)

| 区分 | まき網(つづき) | | | 刺網 | | | さんま 棒受網 | 大型 定置網 | さけ 定置網 |
|-------------|--------------|-------|-------------|--------------|-------------|------------|------------|-----------|-----------|
| | 大中型まき網(つづき) | | 中・小型 まき網 | さけ・ます 流し網 | かじき等 流し網 | その他の 刺網 | | | |
| | 1そうまき その他 | 2そうまき | | | | | | | |
| 平成15年 | 309 | 43 | 1,876 | 63 | 21 | 17,405 | 236 | 1,455 | 575 |
| 構成比 (%) | 0.3 | 0.0 | 1.6 | 0.1 | 0.0 | 15.1 | 0.2 | 1.3 | 0.5 |
| 20年 | 293 | 64 | 1,758 | 59 | 26 | 14,042 | 184 | 1,357 | 787 |
| 構成比 (%) | 0.3 | 0.1 | 1.8 | 0.1 | 0.0 | 14.2 | 0.2 | 1.4 | 0.8 |
| 25年 | 221 | 64 | 1,494 | 39 | 20 | 10,928 | 166 | 1,230 | 883 |
| 構成比 (%) | 0.3 | 0.1 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | 13.4 | 0.2 | 1.5 | 1.1 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 5.2 | 48.8 | △ 6.3 | △ 6.3 | 23.8 | △ 19.3 | △ 22.0 | △ 6.7 | 36.9 |
| 25年/20年 (%) | △ 24.6 | 0.0 | △ 15.0 | △ 33.9 | △ 23.1 | △ 22.2 | △ 9.8 | △ 9.4 | 12.2 |

(つづき)

| 区分 | 小型 定置網 | その他の 網漁業 | はえ縄 | | | | 釣 | | |
|-------------|-----------|-------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
| | | | 遠洋まぐろ はえ縄 | 近海まぐろ はえ縄 | 沿岸まぐろ はえ縄 | その他の はえ縄 | 遠洋かつお 一本釣 | 近海かつお 一本釣 | 沿岸かつお 一本釣 |
| 平成15年 | 4,350 | 1,388 | 484 | 345 | 261 | 3,608 | 58 | 81 | 158 |
| 構成比 (%) | 3.8 | 1.2 | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 3.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 |
| 20年 | 3,730 | 1,668 | 281 | 297 | 296 | 3,169 | 39 | 60 | 336 |
| 構成比 (%) | 3.8 | 1.7 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 3.2 | 0.0 | 0.1 | 0.3 |
| 25年 | 3,026 | 1,446 | 197 | 236 | 312 | 2,388 | 26 | 51 | 257 |
| 構成比 (%) | 3.7 | 1.8 | 0.2 | 0.3 | 0.4 | 2.9 | 0.0 | 0.1 | 0.3 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 14.3 | 20.2 | △ 41.9 | △ 13.9 | 13.4 | △ 12.2 | △ 32.8 | △ 25.9 | 112.7 |
| 25年/20年 (%) | △ 18.9 | △ 13.3 | △ 29.9 | △ 20.5 | 5.4 | △ 24.6 | △ 33.3 | △ 15.0 | △ 23.5 |

(つづき)

単位:隻

| 区分 | 釣(つづき) | | | | | 小型捕鯨 | 潜水器漁業 | 採貝・採藻 | その他の漁業 |
|-------------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 遠洋いか釣 | 近海いか釣 | 沿岸いか釣 | ひき縄釣 | その他の釣 | | | | |
| 平成15年 | 27 | 129 | 5,395 | 3,131 | 22,187 | 5 | 965 | 4,437 | 6,830 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.1 | 4.7 | 2.7 | 19.3 | 0.0 | 0.8 | 3.9 | 5.9 |
| 20年 | 3 | 105 | 4,400 | 3,160 | 17,151 | 4 | 822 | 4,378 | 6,270 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.1 | 4.4 | 3.2 | 17.3 | 0.0 | 0.8 | 4.4 | 6.3 |
| 25年 | 1 | 77 | 3,554 | 2,983 | 13,844 | 5 | 786 | 3,689 | 5,523 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.1 | 4.4 | 3.7 | 17.0 | 0.0 | 1.0 | 4.5 | 6.8 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 88.9 | △ 18.6 | △ 18.4 | 0.9 | △ 22.7 | △ 20.0 | △ 14.8 | △ 1.3 | △ 8.2 |
| 25年/20年 (%) | △ 66.7 | △ 26.7 | △ 19.2 | △ 5.6 | △ 19.3 | 25.0 | △ 4.4 | △ 15.7 | △ 11.9 |

(つづき)

| 区分 | 海面養殖 | | | | | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|---------|--------|----------|
| | 魚類養殖 | | | | | | ほたてがい養殖 | かき類養殖 | その他の貝類養殖 |
| ぎんざけ養殖 | ぶり類養殖 | まだい養殖 | ひらめ養殖 | まぐろ類養殖 | その他の魚類養殖 | | | | |
| 平成15年 | 76 | 2,691 | 2,073 | 175 | ... | 1,018 | 3,527 | 2,900 | 130 |
| 構成比 (%) | 0.1 | 2.3 | 1.8 | 0.2 | - | 0.9 | 3.1 | 2.5 | 0.1 |
| 20年 | 92 | 2,217 | 1,600 | 94 | 182 | 689 | 3,082 | 2,657 | 182 |
| 構成比 (%) | 0.1 | 2.2 | 1.6 | 0.1 | 0.2 | 0.7 | 3.1 | 2.7 | 0.2 |
| 25年 | 60 | 1,819 | 1,219 | 36 | 292 | 615 | 2,455 | 1,964 | 142 |
| 構成比 (%) | 0.1 | 2.2 | 1.5 | 0.0 | 0.4 | 0.8 | 3.0 | 2.4 | 0.2 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | 21.1 | △ 17.6 | △ 22.8 | △ 46.3 | - | △ 32.3 | △ 12.6 | △ 8.4 | 40.0 |
| 25年/20年 (%) | △ 34.8 | △ 18.0 | △ 23.8 | △ 61.7 | 60.4 | △ 10.7 | △ 20.3 | △ 26.1 | △ 22.0 |

(つづき)

| 区分 | 海面養殖(つづき) | | | | | | | | |
|-------------|-----------|--------|-------------|--------|--------|--------|-----------|--------|--------|
| | くるまえば養殖 | ほや類養殖 | その他の水産動物類養殖 | こんぶ類養殖 | わかめ類養殖 | のり類養殖 | その他の海藻類養殖 | 真珠養殖 | 真珠母貝養殖 |
| 平成15年 | 8 | 96 | 15 | 171 | 868 | 4,552 | 388 | 1,864 | 345 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.8 | 4.0 | 0.3 | 1.6 | 0.3 |
| 20年 | 5 | 106 | 29 | 126 | 812 | 4,025 | 402 | 1,333 | 164 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.8 | 4.1 | 0.4 | 1.3 | 0.2 |
| 25年 | 5 | 40 | 24 | 122 | 733 | 3,494 | 423 | 840 | 81 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.9 | 4.3 | 0.5 | 1.0 | 0.1 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 37.5 | 10.4 | 93.3 | △ 26.3 | △ 6.5 | △ 11.6 | 3.6 | △ 28.5 | △ 52.5 |
| 25年/20年 (%) | 0.0 | △ 62.3 | △ 17.2 | △ 3.2 | △ 9.7 | △ 13.2 | 5.2 | △ 37.0 | △ 50.6 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

2 従来の調査結果は、行政施策等において具体的にどのように利活用されたのか。また、今回の新たな追加項目による把握結果は、具体的にどのような利活用が見込まれるのか。(上位3位までの情報を把握することによって、行政施策等への利用面においてどのような利活用が見込まれ、また、得られる情報において有用性を有するのか。)

1 従来の動力漁船の販売金額1位の漁業種類については、トン数規模別・漁業種類別の動力漁船隻数等の統計を作成し、漁業経営の安定のための施策や漁船の操業に係る施策を検討する際の基礎資料として活用されてきた。

2 動力漁船の出漁日数の多い漁業種類を把握することと同様に、新たに販売金額の多い2位と3位の漁業種類を把握することで、漁業経営構造の実態を捉えていくこととしている。

3 複数の漁業種類に取り組む経営は、全国各地の漁場条件により千差万別である。

従って各地域に、動力漁船の出漁日数の多い漁業種類や、販売金額が多かった漁業種類、また、これら漁業種類の複合的な取組が明らかになることは、地域の水産行政にとって貴重な資料となり、漁業資源の管理や漁業の成長産業化に向けた施策検討の際の活用を見込んでいる。

(ウ) 販売金額の多かった漁業種別・魚種別状況に関する調査事項の変更等

〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）及び漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）〕

（論点_審査メモP14）

[1-(2)-オ-（ウ）-1]

1 販売金額の大きい漁業種類に係る調査項目について、データ面の経年変化はどうなっているか。また、調査結果は、行政施策等において具体的にどのように利活用されたのか。

1 海面漁業における、販売金額1位の漁業種別経営体数の推移は、以下のとおり。

表1 販売金額1位の漁業種別経営体数

単位:経営体

| 区分 | 計 | 底びき網 | | | | | 船びき網 | まき網 | |
|-------------|---------|------------|------------|--------|--------|------------|--------|------------------------|------------------------|
| | | 遠洋 底びき網 | 以西 底びき網 | 沖合底びき網 | | 小型 底びき網 | | 大中型まき網 | |
| | | | | 1そうびき | 2そうびき | | | 1そうまき 遠洋 かつお・まぐろ | 1そうまき 近海 かつお・まぐろ |
| 平成15年 | 132,417 | 6 | 7 | 291 | 31 | 10,573 | 2,837 | 12 | 6 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 8.0 | 2.1 | 0.0 | 0.0 |
| 20年 | 115,196 | 6 | 2 | 270 | 17 | 9,240 | 2,777 | 14 | 4 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 8.0 | 2.4 | 0.0 | 0.0 |
| 25年 | 94,507 | 3 | 2 | 211 | 17 | 7,438 | 2,321 | 11 | 5 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 7.9 | 2.5 | 0.0 | 0.0 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 13.0 | 0.0 | △ 71.4 | △ 7.2 | △ 45.2 | △ 12.6 | △ 2.1 | 16.7 | △ 33.3 |
| 25年/20年 (%) | △ 18.0 | △ 50.0 | 0.0 | △ 21.9 | 0.0 | △ 19.5 | △ 16.4 | △ 21.4 | 25.0 |

(つづき)

| 区分 | まき網(つづき) | | | 刺網 | | | さんま 棒受網 | 大型定置網 | さけ定置網 |
|-------------|--------------|--------|-------------|--------------|-------------|------------|------------|-------|-------|
| | 大中型まき網(つづき) | | 中・小型 まき網 | さけ・ます 流し網 | かじき等 流し網 | その他の 刺網 | | | |
| | 1そうまき その他 | 2そうまき | | | | | | | |
| 平成15年 | 49 | 12 | 486 | 49 | 20 | 20,161 | 187 | 490 | 479 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 15.2 | 0.1 | 0.4 | 0.4 |
| 20年 | 48 | 13 | 438 | 46 | 26 | 16,229 | 163 | 454 | 632 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 14.1 | 0.1 | 0.4 | 0.5 |
| 25年 | 42 | 11 | 375 | 29 | 17 | 12,738 | 149 | 431 | 821 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 13.5 | 0.2 | 0.5 | 0.9 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 2.0 | 8.3 | △ 9.9 | △ 6.1 | 30.0 | △ 19.5 | △ 12.8 | △ 7.3 | 31.9 |
| 25年/20年 (%) | △ 12.5 | △ 15.4 | △ 14.4 | △ 37.0 | △ 34.6 | △ 21.5 | △ 8.6 | △ 5.1 | 29.9 |

(つづき)

| 区分 | 小型定置網 | その他の 網漁業 | は え 縄 | | | | 釣 | | |
|-------------|--------|-------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
| | | | 遠洋まぐろ はえ縄 | 近海まぐろ はえ縄 | 沿岸まぐろ はえ縄 | その他の はえ縄 | 遠洋かつお 一本釣 | 近海かつお 一本釣 | 沿岸かつお 一本釣 |
| | | | | | | | | | |
| 構成比 (%) | 3.4 | 1.1 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 2.8 | 0.0 | 0.1 | 0.1 |
| 20年 | 3,575 | 1,903 | 92 | 259 | 296 | 3,088 | 24 | 55 | 294 |
| 構成比 (%) | 3.1 | 1.7 | 0.1 | 0.2 | 0.3 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.3 |
| 25年 | 2,867 | 1,588 | 68 | 192 | 287 | 2,351 | 17 | 48 | 240 |
| 構成比 (%) | 3.0 | 1.7 | 0.1 | 0.2 | 0.3 | 2.5 | 0.0 | 0.1 | 0.3 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 19.8 | 33.6 | △ 54.9 | △ 11.0 | △ 0.7 | △ 15.6 | △ 35.1 | △ 23.6 | 113.0 |
| 25年/20年 (%) | △ 19.8 | △ 16.6 | △ 26.1 | △ 25.9 | △ 3.0 | △ 23.9 | △ 29.2 | △ 12.7 | △ 18.4 |

(つづき)

単位:経営体

| 区分 | 釣(つづき) | | | | | 小型捕鯨 | 潜水器漁業 | 採貝・採藻 | その他の漁業 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 遠洋いか釣 | 近海いか釣 | 沿岸いか釣 | ひき縄釣 | その他の釣 | | | | |
| 平成15年 | 16 | 79 | 6,063 | 3,564 | 21,940 | 5 | 1,185 | 19,831 | 10,390 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.1 | 4.6 | 2.7 | 16.6 | 0.0 | 0.9 | 15.0 | 7.8 |
| 20年 | 2 | 63 | 4,440 | 3,026 | 18,161 | 4 | 1,043 | 19,842 | 9,004 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.1 | 3.9 | 2.6 | 15.8 | 0.0 | 0.9 | 17.2 | 7.8 |
| 25年 | - | 48 | 3,567 | 2,781 | 15,141 | 4 | 946 | 16,528 | 8,269 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.1 | 3.8 | 2.9 | 16.0 | 0.0 | 1.0 | 17.5 | 8.7 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 87.5 | △ 20.3 | △ 26.8 | △ 15.1 | △ 17.2 | △ 20.0 | △ 12.0 | 0.1 | △ 13.3 |
| 25年/20年 (%) | - | △ 23.8 | △ 19.7 | △ 8.1 | △ 16.6 | 0.0 | △ 9.3 | △ 16.7 | △ 8.2 |

(つづき)

| 区分 | 海面養殖 | | | | | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|---------|--------|----------|
| | ぎんざけ養殖 | ぶり類養殖 | まだい養殖 | ひらめ養殖 | まぐる類養殖 | その他の魚類養殖 | ほたてがい養殖 | かき類養殖 | その他の貝類養殖 |
| 平成15年 | 76 | 1,023 | 1,009 | 244 | ... | 470 | 3,859 | 3,308 | 218 |
| 構成比 (%) | 0.1 | 0.8 | 0.8 | 0.2 | - | 0.4 | 2.9 | 2.5 | 0.2 |
| 20年 | 79 | 839 | 753 | 157 | 39 | 324 | 3,411 | 2,879 | 245 |
| 構成比 (%) | 0.1 | 0.7 | 0.7 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 3.0 | 2.5 | 0.2 |
| 25年 | 12 | 632 | 535 | 74 | 63 | 296 | 2,466 | 2,018 | 249 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.7 | 0.6 | 0.1 | 0.1 | 0.3 | 2.6 | 2.1 | 0.3 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | 3.9 | △ 18.0 | △ 25.4 | △ 35.7 | - | △ 31.1 | △ 11.6 | △ 13.0 | 12.4 |
| 25年/20年 (%) | △ 84.8 | △ 24.7 | △ 29.0 | △ 52.9 | 61.5 | △ 8.6 | △ 27.7 | △ 29.9 | 1.6 |

(つづき)

| 区分 | 海面養殖(つづき) | | | | | | | | |
|-------------|-----------|--------|-------------|--------|--------|--------|-----------|--------|--------|
| | くるまえば養殖 | ほや類養殖 | その他の水産動物類養殖 | こんぶ類養殖 | わかめ類養殖 | のり類養殖 | その他の海藻類養殖 | 真珠養殖 | 真珠母貝養殖 |
| 平成15年 | 118 | 182 | 66 | 1,557 | 2,383 | 6,065 | 448 | 1,358 | 683 |
| 構成比 (%) | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 1.2 | 1.8 | 4.6 | 0.3 | 1.0 | 0.5 |
| 20年 | 94 | 235 | 64 | 1,292 | 2,356 | 4,868 | 592 | 971 | 448 |
| 構成比 (%) | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 1.1 | 2.0 | 4.2 | 0.5 | 0.8 | 0.4 |
| 25年 | 81 | 54 | 71 | 1,005 | 2,029 | 3,819 | 584 | 680 | 276 |
| 構成比 (%) | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 1.1 | 2.1 | 4.0 | 0.6 | 0.7 | 0.3 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 20.3 | 29.1 | △ 3.0 | △ 17.0 | △ 1.1 | △ 19.7 | 32.1 | △ 28.5 | △ 34.4 |
| 25年/20年 (%) | △ 13.8 | △ 77.0 | 10.9 | △ 22.2 | △ 13.9 | △ 21.5 | △ 1.4 | △ 30.0 | △ 38.4 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

表2 販売金額2位の漁業種類別経営体数

単位:経営体

| 区分 | 計 | 底びき網 | | | | | 船びき網 | まき網 | |
|-------------|--------|------------|------------|--------|--------|------------|--------|------------------------|------------------------|
| | | 遠洋 底びき網 | 以西 底びき網 | 沖合底びき網 | | 小型 底びき網 | | 大中型まき網 | |
| | | | | 1そうびき | 2そうびき | | | 1そうまき 遠洋 かつお・まぐろ | 1そうまき 近海 かつお・まぐろ |
| 平成15年 | 81,429 | 3 | 1 | 23 | 2 | 4,235 | 1,631 | 9 | 9 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.2 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| 20年 | 63,336 | - | - | 11 | 2 | 2,545 | 909 | 5 | 4 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 | 1.4 | 0.0 | 0.0 |
| 25年 | 51,496 | 1 | - | 7 | 1 | 2,210 | 660 | 6 | - |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 1.3 | 0.0 | 0.0 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 22.2 | - | - | △ 52.2 | 0.0 | △ 39.9 | △ 44.3 | △ 44.4 | △ 55.6 |
| 25年/20年 (%) | △ 18.7 | - | - | △ 36.4 | △ 50.0 | △ 13.2 | △ 27.4 | 20.0 | - |

(つづき)

| 区分 | まき網(つづき) | | | 刺網 | | | さんま 棒受網 | 大型定置網 | さけ定置網 |
|-------------|--------------|-------|-------------|--------------|-------------|------------|------------|--------|-------|
| | 大中型まき網(つづき) | | 中・小型 まき網 | さけ・ます 流し網 | かじき等 流し網 | その他の 刺網 | | | |
| | 1そうまき その他 | 2そうまき | | | | | | | |
| 平成15年 | 5 | - | 359 | 85 | 44 | 15,527 | 75 | 33 | 91 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.1 | 0.1 | 19.1 | 0.1 | 0.0 | 0.1 |
| 20年 | 4 | - | 113 | 67 | 13 | 8,404 | 68 | 27 | 169 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 13.3 | 0.1 | 0.0 | 0.3 |
| 25年 | 9 | - | 91 | 57 | 11 | 6,916 | 51 | 19 | 171 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 13.4 | 0.1 | 0.0 | 0.3 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 20.0 | - | △ 68.5 | △ 21.2 | △ 70.5 | △ 45.9 | △ 9.3 | △ 18.2 | 85.7 |
| 25年/20年 (%) | 125.0 | - | △ 19.5 | △ 14.9 | △ 15.4 | △ 17.7 | △ 25.0 | △ 29.6 | 1.2 |

(つづき)

| 区分 | 小型定置網 | その他の 網漁業 | は え 縄 | | | | 釣 | | |
|-------------|--------|-------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
| | | | 遠洋まぐろ はえ縄 | 近海まぐろ はえ縄 | 沿岸まぐろ はえ縄 | その他の はえ縄 | 遠洋かつお 一本釣 | 近海かつお 一本釣 | 沿岸かつお 一本釣 |
| | | | | | | | | | |
| 構成比 (%) | 2.4 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 3.7 | 0.0 | 0.0 | 0.1 |
| 20年 | 1,719 | 1,625 | 11 | 15 | 136 | 1,595 | 5 | 7 | 283 |
| 構成比 (%) | 2.7 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 0.4 |
| 25年 | 1,320 | 1,384 | 6 | 19 | 112 | 1,271 | 3 | 2 | 169 |
| 構成比 (%) | 2.6 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 0.3 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 11.4 | △ 27.3 | △ 47.6 | △ 31.8 | △ 11.1 | △ 46.5 | 66.7 | △ 12.5 | 249.4 |
| 25年/20年 (%) | △ 23.2 | △ 14.8 | △ 45.5 | 26.7 | △ 17.6 | △ 20.3 | △ 40.0 | △ 71.4 | △ 40.3 |

(つづき)

単位:経営体

| 区分 | 釣(つづき) | | | | | 小型捕鯨 | 潜水器漁業 | 採貝・採藻 | その他の漁業 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| | 遠洋いか釣 | 近海いか釣 | 沿岸いか釣 | ひき縄釣 | その他の釣 | | | | |
| 平成15年 | 5 | 21 | 6,201 | 4,090 | 11,284 | - | 433 | 15,218 | 6,480 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.0 | 7.6 | 5.0 | 13.9 | 0.0 | 0.5 | 18.7 | 8.0 |
| 20年 | 1 | 9 | 2,942 | 2,744 | 8,857 | - | 543 | 12,935 | 11,599 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.0 | 4.6 | 4.3 | 14.0 | 0.0 | 0.9 | 20.4 | 18.3 |
| 25年 | 1 | 6 | 2,390 | 2,458 | 7,704 | - | 431 | 10,091 | 9,866 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.0 | 4.6 | 4.8 | 15.0 | 0.0 | 0.8 | 19.6 | 19.2 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 80.0 | △ 57.1 | △ 52.6 | △ 32.9 | △ 21.5 | - | 25.4 | △ 15.0 | 79.0 |
| 25年/20年 (%) | 0.0 | △ 33.3 | △ 18.8 | △ 10.4 | △ 13.0 | - | △ 20.6 | △ 22.0 | △ 14.9 |

(つづき)

| 区分 | 海面養殖 | | | | | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|---------|--------|----------|
| | 魚類養殖 | | | | | | ほたてがい養殖 | かき類養殖 | その他の貝類養殖 |
| ぎんざけ養殖 | ぶり類養殖 | まだい養殖 | ひらめ養殖 | まぐろ類養殖 | その他の魚類養殖 | | | | |
| 平成15年 | 6 | 227 | 431 | 91 | ... | 576 | 1,085 | 951 | 417 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.3 | 0.5 | 0.1 | - | 0.7 | 1.3 | 1.2 | 0.5 |
| 20年 | 1 | 118 | 268 | 49 | 17 | 349 | 759 | 893 | 308 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.2 | 0.4 | 0.1 | 0.0 | 0.6 | 1.2 | 1.4 | 0.5 |
| 25年 | 3 | 119 | 205 | 30 | 21 | 248 | 319 | 563 | 226 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.2 | 0.4 | 0.1 | 0.0 | 0.5 | 0.6 | 1.1 | 0.4 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 83.3 | △ 48.0 | △ 37.8 | △ 46.2 | - | △ 39.4 | △ 30.0 | △ 6.1 | △ 26.1 |
| 25年/20年 (%) | 200.0 | 0.8 | △ 23.5 | △ 38.8 | 23.5 | △ 28.9 | △ 58.0 | △ 37.0 | △ 26.6 |

(つづき)

| 区分 | 海面養殖(つづき) | | | | | | | | |
|-------------|-----------|--------|-------------|--------|--------|--------|-----------|--------|--------|
| | くるまえび養殖 | ほや類養殖 | その他の水産動物類養殖 | こんぶ類養殖 | わかめ類養殖 | のり類養殖 | その他の海藻類養殖 | 真珠養殖 | 真珠母貝養殖 |
| 平成15年 | 17 | 359 | 75 | 998 | 2,293 | 370 | 88 | 33 | 103 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.4 | 0.1 | 1.2 | 2.8 | 0.5 | 0.1 | 0.0 | 0.1 |
| 20年 | 11 | 309 | 63 | 649 | 1,559 | 243 | 81 | 68 | 224 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.5 | 0.1 | 1.0 | 2.5 | 0.4 | 0.1 | 0.1 | 0.4 |
| 25年 | 5 | 124 | 69 | 585 | 1,103 | 143 | 87 | 38 | 165 |
| 構成比 (%) | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 1.1 | 2.1 | 0.3 | 0.2 | 0.1 | 0.3 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 35.3 | △ 13.9 | △ 16.0 | △ 35.0 | △ 32.0 | △ 34.3 | △ 8.0 | 106.1 | 117.5 |
| 25年/20年 (%) | △ 54.5 | △ 59.9 | 9.5 | △ 9.9 | △ 29.2 | △ 41.2 | 7.4 | △ 44.1 | △ 26.3 |

資料:農林水産省「漁業センサス」より

2 上記の結果は、漁業経営体がどのような漁業を主に営んでいるかといった、我が国漁業の生産構造の基本的な事項であり、水産施策全般に渡る基礎資料として幅広く活用されている。

【活用事例：規制改革推進会議第1回水産WG資料（抜粋）】

日本の漁業種類別の漁業生産力

- 漁業種類ごとに見ると、沖合底びき網、大中型まき網等は、生産量が多く、経営体や漁船数は少ないため、1経営体当たり・1隻当たりの生産量が多い。
- 他の漁業種類は、経営体数や漁船数が非常に多く、総じて生産性が低い。

| | 漁業種類名 | 概要 | 主な魚種 (下線はTAC魚種) | 生産量 (百トン) | 経営体数 (経営体) | 漁業 従事者数 (人) | 漁船数 (隻) | 1経営体当たり 生産量 (トン/経営体) | 1漁業従事者 当たり生産量 (トン/人) | 漁船1隻当たり 生産量 (トン/隻) |
|--------|------------------|-------------------------------|--|--------------|---------------|-------------------|------------|----------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 沖合 | 沖合底びき網 【大臣許可】 | 周辺水域で底びき網を使用して行う漁業(15t以上) | <u>スズキ</u> 、 <u>ホッケ</u> 、 <u>カレイ</u> 、 <u>スズキ</u> 等 | 2,090 | 228 | 2,480 | 314 | 916.7 | 84.3 | 665.6 |
| | 大中型まき網 【大臣許可】 | 周辺水域等でまき網を使用して行う漁業(40t以上) | <u>サバ</u> 、 <u>イシ</u> 、 <u>アジ</u> 、 <u>スルメイカ</u> 、 <u>カワオ</u> 、 <u>マダラ</u> 等 | 8,377 | 69 | 3,900 | 377 | 12,140.6 | 214.8 | 2,222.0 |
| 沿岸地先沖合 | 中型まき網等 【知事許可】 | 沿岸水域でまき網を使用して行う漁業(5t以上40t未満)等 | <u>サバ</u> 、 <u>イシ</u> 、 <u>アジ</u> 等 | 4,581 | 375 | 4,311 | 1,734 | 1221.6 | 106.3 | 264.2 |
| | 小型底びき網 【知事許可】 | 沿岸水域で底びき網を使用して行う漁業(15t未満) | | 3,019 | 7,438 | 12,493 | 10,285 | 40.6 | 24.2 | 29.4 |
| | その他の刺網 【知事許可】 | 刺し網(かじき等流し網等以外)を使用して行う漁業 | | 1,192 | 12,738 | 17,002 | 18,211 | 9.4 | 7.0 | 6.5 |
| | その他の釣 | 釣漁業(まぐろはえ縄、かつお一本釣、いか釣以外) | | 315 | 15,141 | 14,353 | 18,143 | 2.1 | 2.2 | 1.7 |
| | 大型定置網 【漁業種】 | 沿岸水域で定置網を使用して行う漁業(設置水深27m以上) | <u>イシ</u> 、 <u>サバ</u> 、 <u>アジ</u> 、 <u>アリ</u> 、 <u>マダラ</u> 等 | 2,126 | 431 | 6,258 | 2,185 | 493.3 | 34.0 | 97.3 |

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(生産量(2014年))、「漁業センサス2013」(経営体数、漁業従事者数、漁船数)
注：「漁業従事者数」は、2013年11月1日現在の海上作業従事者数であり、経営体数より少ない場合がある。

2 把握する漁業種類及び魚種の範囲を上位3位までとした理由は何か。今回の新たな追加項目による把握結果は、具体的にどのような利活用が見込まれるのか。(上位3位までの情報を把握することによって、行政施策等への利用面においてどのような利活用が見込まれ、また、得られる情報において有用性を有するのか。)

1 世界の水産資源の多くは既に満限あるいはそれ以上に利用されているとされており、我が国周辺の豊かな水産資源を適切に管理し、国民に安定的に水産物を供給していくことの重要性が高まっている。

今後も継続的に漁業経営を行っていくためには、限られた資源や漁場を効率的に利用するとともに、漁業経営体の経営を安定させるため、複数の漁業種類を組み合わせるなど、漁業経営にはこれまで以上の工夫が必要となっている。

2 2018年漁業センサスでは、販売金額が1位から3位までの漁業種類や魚種を把握することで、経営における漁業種類の組合せ状況を明らかにする。複数の漁業種類をどのように組合せたら、少ない投資でより多くの販売金額を得ることができるのかなどを、地域別にも明らかにし、所得の向上や経営の安定に関する施策の基礎資料として提供していきたいと考えている。

カ 海面養殖の種類に関する選択肢区分の変更等

(ア) 海面養殖における漁業種類の選択肢区分の追加・変更

[漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）及び漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）]

(論点_審査メモP17)

[1-(2)-カ-(ア)-1]

1 「とらふぐ養殖」を含め、選択肢として設けている海面養殖の種類別の収穫量について、データ面での経年変化はどうなっているか。

海面養殖における、魚種別の収穫量は、以下のとおり。

表 養殖魚種別収穫量の推移（海面）

単位：t

| 区分 | 計 | 魚 類 | | | | | | |
|-------------|-----------|---------|--------|---------|--------|-------|--------|--------|
| | | 小計 | ぎんざけ | ぶり類 | まだい | ひらめ | ふぐ類 | くろまぐろ |
| 平成24年 | 1,039,504 | 250,472 | 9,728 | 160,215 | 56,653 | 3,125 | 4,179 | 9,639 |
| 25年 | 997,097 | 243,670 | 12,215 | 150,387 | 56,861 | 2,501 | 4,965 | 10,396 |
| 26年 | 987,639 | 237,964 | 12,802 | 134,608 | 61,702 | 2,607 | 4,902 | 14,713 |
| 27年 | 1,069,017 | 246,089 | 13,937 | 140,292 | 63,605 | 2,545 | 4,012 | 14,825 |
| 28年 | 1,032,507 | 247,563 | 13,208 | 140,868 | 66,965 | 2,309 | 3,491 | 13,413 |
| 増減率 | | | | | | | | |
| 28年/27年 (%) | △ 3.4 | 0.6 | △ 5.2 | 0.4 | 5.3 | △ 9.3 | △ 13.0 | △ 9.5 |

(つづき)

| 区分 | 魚類(つづき) | 貝 類 | | | | くるまえばい | ほや類 | その他の水産動物類 |
|-------------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|--------|-----------|
| | その他の魚類 | 小計 | ほたてがい | かき類(殻付き) | その他の貝類 | | | |
| 平成24年 | 6,933 | 345,913 | 184,287 | 161,116 | 511 | 1,596 | 610 | 138 |
| 25年 | 6,346 | 332,440 | 167,844 | 164,139 | 457 | 1,596 | 889 | 114 |
| 26年 | 6,629 | 368,714 | 184,588 | 183,685 | 440 | 1,582 | 5,344 | 108 |
| 27年 | 6,872 | 413,028 | 248,209 | 164,380 | 439 | 1,314 | 8,288 | 98 |
| 28年 | 7,310 | 373,956 | 214,571 | 158,925 | 460 | 1,381 | 18,271 | 106 |
| 増減率 | | | | | | | | |
| 28年/27年 (%) | 6.4 | △ 9.5 | △ 13.6 | △ 3.3 | 4.8 | 5.1 | 120.5 | 8.2 |

(つづき)

| 区分 | 海 藻 類 | | | | | 真珠(浜揚量) |
|-------------|---------|--------|--------|----------|---------|---------|
| | 小計 | こんぶ類 | わかめ類 | のり類(生重量) | その他の海藻類 | |
| 平成24年 | 440,754 | 34,147 | 48,343 | 341,580 | 16,684 | 20 |
| 25年 | 418,366 | 35,410 | 50,614 | 316,228 | 16,113 | 20 |
| 26年 | 373,909 | 32,897 | 44,716 | 276,129 | 20,166 | 20 |
| 27年 | 400,181 | 38,671 | 48,951 | 297,370 | 15,188 | 20 |
| 28年 | 391,210 | 27,068 | 47,672 | 300,683 | 15,785 | 20 |
| 増減率 | | | | | | |
| 28年/27年 (%) | △ 2.2 | △ 30.0 | △ 2.6 | 1.1 | 3.9 | 0.0 |

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」より

2 本調査事項から得られたデータは、行政施策等において具体的にどのように利活用されているのか。また、利活用の面からみて、選択枝の設定は適切なものとなっているか。

- 1 養殖種類や養殖施設面積に関する調査事項は、海面養殖を営む漁業経営体の生産構造を把握する上での基本事項であり、その結果は、水産基本計画の策定の他、漁業共済制度の見直しに係る基礎資料など、海面養殖業に係る施策に幅広く利用されている。
- 2 養殖種類の選択枝区分については、直近では、国際的な漁獲規制が強化され養殖への期待が高まった「まぐろ養殖」を2008年漁業センサスから追加したように、調査設計時点における養殖収獲量等を勘案し、漁業共済対象魚種の検討などの行政ニーズを踏まえて、適切な選択枝区分となるよう見直してきている。今回から追加する「とらふぐ養殖」については、陸上施設における漁業共済対象魚種の検討対象となることを踏まえ、陸上施設の内訳も含めた養殖施設面積等の実態を明らかにするために設定するものである。

(イ) 湖沼漁業で漁獲した魚種の選択肢区分の削除

[内水面漁業経営体調査票Ⅰ(個人経営体用)及び内水面漁業経営体調査票Ⅱ(団体経営体用)]

(論点_審査メモP17)

[1-(2)-カー(イ)-1]

1 選択肢として設けている魚種別の漁獲量について、データ面での経年変化はどうなっているか。

内水面漁業における、魚種別漁獲量の推移は、下表のとおり。

表 内水面漁業における魚種別漁獲量の推移

単位：t

| 区分 | 計 | 魚類 | | | | | | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|--------------|--------|--------|--------|
| | | こい | ふな | あゆ | うぐい・ おいかわ | わかさぎ | さけ・ます類 | しらうお |
| 平成24年 | 32,869 | 334 | 644 | 2,520 | 626 | 1,333 | 13,650 | 777 |
| 25 | 30,635 | 303 | 591 | 2,332 | 467 | 1,156 | 12,583 | 632 |
| 26 | 30,603 | 258 | 596 | 2,395 | 468 | 1,242 | 10,769 | 706 |
| 27 | 32,917 | 227 | 555 | 2,407 | 486 | 1,417 | 12,817 | 774 |
| 28 | 27,937 | 220 | 534 | 2,390 | 466 | 1,181 | 8,481 | 585 |
| 増減率 | | | | | | | | |
| 28年/27年 (%) | △ 15.1 | △ 3.1 | △ 3.8 | △ 0.7 | △ 4.1 | △ 16.7 | △ 33.8 | △ 24.4 |

(つづき)

| 区分 | 魚類(つづき) | | | 貝類 | | その他の水産動植物類 | |
|-------------|---------|-------|--------|-------|--------|------------|------|
| | うなぎ | はぜ類 | その他の魚類 | しじみ | その他の貝類 | えび類 | その他 |
| 平成24年 | 165 | 147 | 1,028 | 7,839 | 3,183 | 448 | 174 |
| 25 | 135 | 132 | 946 | 8,454 | 2,272 | 464 | 166 |
| 26 | 112 | 173 | 879 | 9,804 | 2,632 | 409 | 159 |
| 27 | 70 | 170 | 782 | 9,819 | 2,879 | 372 | 145 |
| 28 | 71 | 160 | 926 | 9,580 | 2,820 | 360 | 163 |
| 増減率 | | | | | | | |
| 28年/27年 (%) | 1.4 | △ 5.9 | 18.4 | △ 2.4 | △ 2.0 | △ 3.2 | 12.4 |

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」より

2 本調査事項から得られたデータは、行政施策等において具体的にどのように利活用されているのか。また、当該選択肢を削除しても支障等は生じないか。

- 1 湖沼漁業の漁獲魚種に関するデータについては、「漁業・養殖業生産統計」の魚種別漁獲量と併せて分析し、遊漁規則や内水面漁業調整規則の改正作業等の基礎資料として利用している。
- 2 また、「あみ類」については、「漁業・養殖業生産統計」において魚種別漁獲量が細分されていなく、「その他の水産動植物類」の「その他」として分類されており、漁獲量と併せて分析することはできないため、漁業センサスにおいて「あみ類」の調査項目を削除しても支障はないと見込んでいる。

(ウ) 内水面養殖業における養殖種類の選択肢区分の変更

[内水面漁業経営体調査票Ⅰ(個人経営体用)及び内水面漁業経営体調査票Ⅱ(団体経営体用)]

(論点_審査メモP17)

[1-(2)-カー(ウ)-1]

1 本調査事項について、データ面での経年変化はどうなっているか。

内水面養殖業における、営んだ養殖種類別経営体数の推移は、下表のとおり。

表 内水面養殖業における営んだ養殖種類別経営体数

単位:経営体

| 区分 | 計 (実数) | 食用 | | | | | | |
|------------|-----------|------------|--------|-------------|--------|--------|--------|--------|
| | | 小計 (実数) | にじます | その他の ます類 | あゆ | こい | ふな | うなぎ |
| 平成15年 | 4,495 | 3,034 | 638 | 1,051 | 313 | 438 | 335 | 467 |
| 20年 | 3,764 | 2,550 | 461 | 798 | 219 | 278 | 238 | 444 |
| 25年 | 3,129 | 2,106 | 387 | 675 | 186 | 189 | 180 | 384 |
| 増減率 | | | | | | | | |
| 20年/15年(%) | △ 16.3 | △ 16.0 | △ 27.7 | △ 24.1 | △ 30.0 | △ 36.5 | △ 29.0 | △ 4.9 |
| 25年/20年(%) | △ 16.9 | △ 17.4 | △ 16.1 | △ 15.4 | △ 15.1 | △ 32.0 | △ 24.4 | △ 13.5 |

(つづき)

| 区分 | 食用(つづき) | | | 種苗用 | | | | |
|------------|---------|------|--------|------------|--------|--------|--------|--------|
| | すっぽん | 海水魚種 | その他 | 小計 (実数) | ます類 | あゆ | こい | その他 |
| 平成15年 | 96 | … | 507 | 613 | 345 | 98 | 119 | 123 |
| 20年 | 68 | 24 | 557 | 462 | 288 | 67 | 48 | 96 |
| 25年 | 61 | 28 | 481 | 375 | 197 | 74 | 47 | 103 |
| 増減率 | | | | | | | | |
| 20年/15年(%) | △ 29.2 | - | 9.9 | △ 24.6 | △ 16.5 | △ 31.6 | △ 59.7 | △ 22.0 |
| 25年/20年(%) | △ 10.3 | 16.7 | △ 13.6 | △ 18.8 | △ 31.6 | 10.4 | △ 2.1 | 7.3 |

(つづき)

| 区分 | 観賞用 | | | 真珠 |
|------------|------------|--------|--------|--------|
| | 小計 (実数) | 錦ごい | きんぎょ | |
| 平成15年 | 1,385 | 988 | 530 | 21 |
| 20年 | 1,093 | 739 | 432 | 15 |
| 25年 | 911 | 591 | 406 | 15 |
| 増減率 | | | | |
| 20年/15年(%) | △ 21.1 | △ 25.2 | △ 18.5 | △ 28.6 |
| 25年/20年(%) | △ 16.7 | △ 20.0 | △ 6.0 | 0.0 |

資料:農林水産省「漁業センサス」より

2 本調査事項から得られたデータは、行政施策等において具体的にどのように利活用されているのか。また、当該選択肢を変更しても支障等は生じないか。「きんぎょ」を残した上で、「その他」の選択肢を追加する必要はないのか。

- 1 内水面漁業における養殖種類別の結果は、内水面養殖の許可制度や激甚災害制度の対象基準を算定する等の基礎資料として利用されている。
- 2 また、「観賞用きんぎょ」の調査項目を変更することについては、2003年漁業センサス以降、実態として「観賞用きんぎょ」に熱帯魚、ミドリガメ等を含めて把握（調査員の手引に記載し、調査対象に説明）しており、2018年漁業センサスにおいて調査項目名は変更するが定義を変更するものではないため、支障はないと見込んでいる。
- 3 なお、「観賞用その他」の項目については、2003年漁業センサス時に該当する経営体の減少に伴い項目を削除したところであり、記入者負担を考慮し、「観賞用錦ごい」、「観賞用きんぎょ」、「観賞用その他」とした調査項目の設定は行わない。

表 内水面養殖業における営んだ養殖種類別経営体数（観賞用）

| 区分 | 観 賞 用 | | | |
|------------|------------|--------|--------|--------|
| | 小計 (実数) | 錦ごい | きんぎょ | その他 |
| 昭和58年 | 4,135 | 3,507 | 1,024 | 50 |
| 63年 | 2,896 | 2,330 | 931 | 69 |
| 平成5年 | 2,313 | 1,802 | 781 | 74 |
| 10年 | 1,800 | 1,315 | 629 | 40 |
| 15年 | 1,385 | 988 | 530 | |
| 20年 | 1,093 | 739 | 432 | |
| 25年 | 911 | 591 | 406 | |
| 増減率 | | | | |
| 5年/63年 (%) | △ 20.1 | △ 22.7 | △ 16.1 | 7.2 |
| 10年/5年 (%) | △ 22.2 | △ 27.0 | △ 19.5 | △ 45.9 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

キ 漁獲物・収獲物等の販売金額を把握する調査事項の変更

〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）、漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）、内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）、内水面漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）及び冷凍・冷蔵、水産加工場調査票〕

（論点_審査メモP19）

[1-(2)-キー1]

1 本調査事項について、データ面での経年変化はどうなっているか。また、得られたデータは、行政施策等において具体的にどのように利活用されているか。

1 海面漁業調査漁業経営体調査の調査結果は、以下のとおり。

表1 漁獲物・収獲物の販売金額規模別経営体数（海面漁業）

単位:経営体

| 区分 | 計 | 販売金額なし | 100万円未満 | 100～300 | 300～500 | 500～800 | 800～1,000 |
|-------------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 平成15年 | 132,417 | 1,754 | 35,893 | 51,499 | | 20,497 | |
| 構成比 (%) | 100.0 | 1.3 | 27.1 | 38.9 | | 15.5 | |
| 20年 | 115,196 | 812 | 34,214 | 23,140 | 17,003 | 11,950 | 6,285 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 0.7 | 29.7 | 20.1 | 14.8 | 10.4 | 5.5 |
| 25年 | 94,507 | 1,149 | 30,142 | 22,744 | 11,300 | 8,678 | 4,118 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 1.2 | 31.9 | 24.1 | 12.0 | 9.2 | 4.4 |
| 増減率 | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 13.0 | △ 53.7 | △ 4.7 | △ 22.1 | | △ 11.0 | |
| 25年/20年 (%) | △ 18.0 | 41.5 | △ 11.9 | △ 1.7 | △ 33.5 | △ 27.4 | △ 34.5 |

(つづき)

| 区分 | 1,000～1,500 | 1,500～2,000 | 2,000～5,000 | 5,000万円～1億円 | 1～2 | 2～5 | 5～10 | 10億円以上 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--------|--------|--------|
| 平成15年 | 11,176 | | 6,934 | 2,536 | 2,000 | | | 128 |
| 構成比 (%) | 8.4 | | 5.2 | 1.9 | 1.5 | | | 0.1 |
| 20年 | 6,725 | 3,881 | 6,530 | 2,535 | 1,148 | 647 | 200 | 126 |
| 構成比 (%) | 5.8 | 3.4 | 5.7 | 2.2 | 1.0 | 0.6 | 0.2 | 0.1 |
| 25年 | 4,616 | 2,797 | 5,465 | 1,867 | 857 | 531 | 137 | 106 |
| 構成比 (%) | 4.9 | 3.0 | 5.8 | 2.0 | 0.9 | 0.6 | 0.1 | 0.1 |
| 増減率 | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 5.1 | | △ 5.8 | △ 0.0 | △ 0.3 | | | △ 1.6 |
| 25年/20年 (%) | △ 31.4 | △ 27.9 | △ 16.3 | △ 26.4 | △ 25.3 | △ 17.9 | △ 31.5 | △ 15.9 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

表2 収獲物の販売金額別経営体数（海面養殖業）

単位：経営体

| 区 分 | 計 | 販売金額 なし | 100万円 未 満 | 100～300 | 300～500 | 500～800 | 800～ 1,000 |
|--------------------|---------|------------|--------------|---------|---------|---------|---------------|
| 平成15年 | 132,417 | … | … | … | … | … | … |
| 20年 | 115,196 | 92,780 | 3,447 | 2,799 | 3,018 | 2,681 | 1,935 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 80.5 | 3.0 | 2.4 | 2.6 | 2.3 | 1.7 |
| 25年 | 94,507 | 77,297 | 2,939 | 2,914 | 1,966 | 1,825 | 989 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 81.8 | 3.1 | 3.1 | 2.1 | 1.9 | 1.0 |
| 増減率 25年/20年 (%) | △ 18.0 | △ 16.7 | △ 14.7 | 4.1 | △ 34.9 | △ 31.9 | △ 48.9 |

(つづき)

| 区 分 | 1,000～ 1,500 | 1,500～ 2,000 | 2,000～ 5,000 | 5,000万円 ～1億円 | 1～2 | 2～5 | 5～10 | 10億円 以 上 |
|--------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|--------|--------|-------------|
| 平成15年 | … | … | … | … | … | … | … | … |
| 20年 | 2,413 | 1,694 | 2,725 | 1,024 | 387 | 208 | 55 | 30 |
| 構成比 (%) | 2.1 | 1.5 | 2.4 | 0.9 | 0.3 | 0.2 | 0.0 | 0.0 |
| 25年 | 1,485 | 1,153 | 2,559 | 802 | 330 | 174 | 47 | 27 |
| 構成比 (%) | 1.6 | 1.2 | 2.7 | 0.8 | 0.3 | 0.2 | 0.0 | 0.0 |
| 増減率 25年/20年 (%) | △ 38.5 | △ 31.9 | △ 6.1 | △ 21.7 | △ 14.7 | △ 16.3 | △ 14.5 | △ 10.0 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

2 内水面漁業調査内水面漁業経営体調査の調査結果は、以下のとおり。

表3 漁獲物の販売金額規模別経営体数（湖沼漁業）

単位：経営体

| 区 分 | 計 | 販売なし | 10万円 未満 | 10～30 | 30～50 | 50～100 |
|-------------|--------|------|------------|--------|--------|--------|
| 平成15年 | 2,906 | 67 | 209 | 294 | 305 | 422 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 2.3 | 7.2 | 10.1 | 10.5 | 14.5 |
| 20年 | 2,552 | 79 | 237 | 161 | 240 | 295 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 3.1 | 9.3 | 6.3 | 9.4 | 11.6 |
| 25年 | 2,266 | 83 | 220 | 179 | 215 | 273 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 3.7 | 9.7 | 7.9 | 9.5 | 12.0 |
| 増減率 | | | | | | |
| 20年／15年 (%) | △ 12.2 | 17.9 | 13.4 | △ 45.2 | △ 21.3 | △ 30.1 |
| 25年／20年 (%) | △ 11.2 | 5.1 | △ 7.2 | 11.2 | △ 10.4 | △ 7.5 |

(つづき)

| 区 分 | 100～300 | 300～500 | 500～ 1,000 | 1,000～ 2,000 | 2,000～ 5,000 | 5,000万円 ～1億円 | 1億円 以上 |
|-------------|---------|---------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|
| 平成15年 | 556 | 187 | 422 | 374 | 59 | 9 | 2 |
| 構成比 (%) | 19.1 | 6.4 | 14.5 | 12.9 | 2.0 | 0.3 | 0.1 |
| 20年 | 469 | 339 | 484 | 182 | 57 | 8 | 1 |
| 構成比 (%) | 18.4 | 13.3 | 19.0 | 7.1 | 2.2 | 0.3 | 0.0 |
| 25年 | 460 | 364 | 309 | 103 | 55 | 4 | 1 |
| 構成比 (%) | 20.3 | 16.1 | 13.6 | 4.5 | 2.4 | 0.2 | 0.0 |
| 増減率 | | | | | | | |
| 20年／15年 (%) | △ 15.6 | 81.3 | 14.7 | △ 51.3 | △ 3.4 | △ 11.1 | △ 50.0 |
| 25年／20年 (%) | △ 1.9 | 7.4 | △ 36.2 | △ 43.4 | △ 3.5 | △ 50.0 | 0.0 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

表4 収獲物の販売金額規模別経営体数（内水面養殖業）

単位：経営体

| 区 分 | 計 | 販売なし | 10万円 未満 | 10～30 | 30～50 | 50～100 |
|-------------|--------|--------|------------|--------|--------|--------|
| 平成15年 | 4,495 | 124 | 296 | 451 | 238 | 387 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 2.8 | 6.6 | 10.0 | 5.3 | 8.6 |
| 20年 | 3,764 | 249 | 316 | 231 | 229 | 300 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 6.6 | 8.4 | 6.1 | 6.1 | 8.0 |
| 25年 | 3,129 | 127 | 247 | 250 | 194 | 293 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 4.1 | 7.9 | 8.0 | 6.2 | 9.4 |
| 増減率 | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 16.3 | 100.8 | 6.8 | △ 48.8 | △ 3.8 | △ 22.5 |
| 25年/20年 (%) | △ 16.9 | △ 49.0 | △ 21.8 | 8.2 | △ 15.3 | △ 2.3 |

(つづき)

| 区 分 | 100～300 | 300～500 | 500～ 1,000 | 1,000～ 2,000 | 2,000～ 5,000 | 5,000万円 ～1億円 | 1億円 以上 |
|-------------|---------|---------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|
| 平成15年 | 781 | 396 | 472 | 407 | 527 | 268 | 148 |
| 構成比 (%) | 17.4 | 8.8 | 10.5 | 9.1 | 11.7 | 6.0 | 3.3 |
| 20年 | 523 | 385 | 404 | 352 | 333 | 275 | 167 |
| 構成比 (%) | 13.9 | 10.2 | 10.7 | 9.4 | 8.8 | 7.3 | 4.4 |
| 25年 | 470 | 287 | 356 | 280 | 268 | 171 | 186 |
| 構成比 (%) | 15.0 | 9.2 | 11.4 | 8.9 | 8.6 | 5.5 | 5.9 |
| 増減率 | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 33.0 | △ 2.8 | △ 14.4 | △ 13.5 | △ 36.8 | 2.6 | 12.8 |
| 25年/20年 (%) | △ 10.1 | △ 25.5 | △ 11.9 | △ 20.5 | △ 19.5 | △ 37.8 | 11.4 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

3 流通加工調査冷凍・冷蔵、水産加工場調査の調査結果は、以下のとおり。

表5 年間製品販売金額規模別工場数

単位：工場

| 区 分 | 計 | 100万円 未満 | 100～500 | 500～1,000 | 1,000～ 5,000 | 5,000万円 ～ 1億円 | 1～5 | 5～10 | 10億円 以上 |
|-------------|--------|-------------|---------|-----------|-----------------|---------------------|--------|--------|------------|
| 平成15年 | 11,465 | 508 | 1,020 | 1,061 | 3,041 | 1,767 | 2,477 | 725 | 866 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 4.4 | 8.9 | 9.3 | 26.5 | 15.4 | 21.6 | 6.3 | 7.6 |
| 20年 | 10,097 | 441 | 680 | 870 | 2,434 | 1,688 | 2,351 | 828 | 805 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 4.4 | 6.7 | 8.6 | 24.1 | 16.7 | 23.3 | 8.2 | 8.0 |
| 25年 | 8,514 | 350 | 733 | 840 | 2,224 | 1,151 | 1,929 | 590 | 697 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 4.1 | 8.6 | 9.9 | 26.1 | 13.5 | 22.7 | 6.9 | 8.2 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 11.9 | △ 13.2 | △ 33.3 | △ 18.0 | △ 20.0 | △ 4.5 | △ 5.1 | 14.2 | △ 7.0 |
| 25年/20年 (%) | △ 15.7 | △ 20.6 | 7.8 | △ 3.4 | △ 8.6 | △ 31.8 | △ 17.9 | △ 28.7 | △ 13.4 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

- 4 海面漁業及び内水面漁業における漁獲物・収獲物の販売金額規模別結果については、水産基本計画の策定、漁業経営の安定に向けた施策、漁業産出額の算出の基礎データ等として活用されている。

- 5 また、水産加工場における販売金額規模別結果については、水産加工資金の貸付条件を改定する際の資料等の他、別途、水産庁で実施している水産加工業経営実態調査（一般統計調査）の母集団として活用されている。

2 今回の変更により、新たに平均金額による表章を行うこととしているが、具体的にどのようにして平均金額を算出するのか。また、それにより得られた結果は具体的にどのような利活用が見込まれるのか。

1 平均販売金額の算出方法については以下のとおり。

- ① 最上位階層以外の各階層の中位数（例えば1,000～5,000万円の階層の場合は3,000万円と当該階層の中間値）とそれぞれの階層に属する経営体数を乗じる
- ② 最上位階層の実額を合計
- ③ ①と②の合計を全経営体数で割り返して平均販売金額を算出

2 平均販売金額については、激甚災害制度に基づく激甚災害指定のための参考資料や、地域経済分析システム（RESAS：リーサス 経済産業省及び内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局））にデータ提供することなどを通じ、地方創生の様々な取り組みのための基礎資料としての活用を見込んでいる。

3 「試行調査」における本調査事項の記入状況（未記入率）はどのようになっているか。その調査結果についてどのように評価しているか。

1 本年に実施した「試行調査」では、最上位階層に該当する経営体が2つと少なく、定量的な評価はできなかったが、該当した客体はいずれも、記入拒否はなく、適切に記入してくれていたと評価している。

2 また、試行調査とは別に、調査票の設計段階で、記入や把握の可能性を確認するため、現場の経営体や関係団体にヒアリングしたが、協力が得られることを確認している。

4 上記を踏まえ、今回変更内容は、調査結果の正確性の確保及び報告者負担の観点から、必要かつ適切なものとなっているか。

実額記入は忌避感がある項目であるが、最上位階層のみとすることで、記入者の忌避感を最小限に抑えられ、実額記入の対象となる経営体は、多くは規模の大きい会社等の団体経営体に限定されることから、記入協力を頂けるものと考えている。

表1 漁獲物・収穫物の販売金額規模最上位階層の経営体数（海面漁業）

| 区分 | 経営体数 | | 最上位階層 が占める割合 |
|---------------|---------------|------------|-----------------|
| | | 10億円以上 | |
| (海面) 漁業経営体 | 経営体 94,507 | 経営体 106 | % 0.1 |
| うち、団体経営体 | 5,037 | 103 | 2.0 |

資料：農林水産省「2013年漁業センサス」より

表2 漁獲物・収穫物の販売金額規模最上位階層の経営体数（内水面漁業）

| 区分 | 湖沼漁業 | | | 内水面養殖業 | | |
|----------|--------------|------------|-----------------|--------------|------------|-----------------|
| | 経営体数 | 1,000万円以上 | 最上位階層 が占める割合 | 経営体数 | 1億円以上 | 最上位階層 が占める割合 |
| | | | | | | |
| 内水面漁業経営体 | 経営体 2,266 | 経営体 163 | % 7.2 | 経営体 3,129 | 経営体 186 | % 5.9 |
| うち、団体経営体 | 104 | 44 | 42.3 | 825 | 139 | 16.8 |

資料：農林水産省「2013年漁業センサス」より

表3 販売金額規模最上位階層の工場数（水産加工場）

| 区分 | 工場数 | | 最上位階層 が占める割合 |
|---------|-------------|-----------|-----------------|
| | | 10億円以上 | |
| 水産加工場 | 工場 8,514 | 工場 697 | % 8.2 |
| うち、個人以外 | 5,961 | 697 | 11.7 |

資料：農林水産省「2013年漁業センサス」より

ク 漁獲物・収獲物の出荷先の選択肢区分の変更

〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）及び漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）〕

（論点_審査メモP20）

[1-(2)-ク-1]

1 本調査事項について、データ面での経年変化はどのようなになっているか。

主な出荷先別経営体数の推移は、以下のとおり。

表 主な出荷先別経営体数（海面漁業）

単位:経営体

| 区分 | 計 | 漁協の市場 又は 荷さばき所 | 漁協以外の 卸売市場 | 流通業者・ 加工業者 | 小売業者 | 生協 | 直売所 | 自家販売 | その他 |
|-------------|---------|----------------------|---------------|---------------|--------|--------|------|--------|--------|
| 平成15年 | 132,417 | 92,514 | 18,979 | 6,803 | 3,098 | 15 | 534 | 6,140 | 4,334 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 69.9 | 14.3 | 5.1 | 2.3 | 0.0 | 0.4 | 4.6 | 3.3 |
| 20年 | 115,196 | 82,159 | 15,434 | 6,063 | 2,608 | 31 | 715 | 4,983 | 3,203 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 71.3 | 13.4 | 5.3 | 2.3 | 0.0 | 0.6 | 4.3 | 2.8 |
| 25年 | 94,507 | 66,764 | 12,309 | 5,296 | 2,255 | 18 | 869 | 4,381 | 2,615 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 70.6 | 13.0 | 5.6 | 2.4 | 0.0 | 0.9 | 4.6 | 2.8 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 20年/15年 (%) | △ 13.0 | △ 11.2 | △ 18.7 | △ 10.9 | △ 15.8 | 106.7 | 33.9 | △ 18.8 | △ 26.1 |
| 25年/20年 (%) | △ 18.0 | △ 18.7 | △ 20.2 | △ 12.7 | △ 13.5 | △ 41.9 | 21.5 | △ 12.1 | △ 18.4 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

出荷先別経営体数（延べ）の推移は、以下のとおり。

表 出荷先別延べ経営体数（海面漁業）

単位:経営体

| 区分 | 計 | 漁協の市場 又は 荷さばき所 | 漁協以外の 卸売市場 | 流通業者・ 加工業者 | 小売業者 | 生協 | 直売所 | 自家販売 | その他 |
|-------------|---------|----------------------|---------------|---------------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 平成20年 | 115,196 | 87,791 | 21,369 | 10,172 | 6,262 | 112 | 2,151 | 13,817 | 5,850 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 76.2 | 18.6 | 8.8 | 5.4 | 0.1 | 1.9 | 12.0 | 5.1 |
| 25年 | 94,507 | 72,252 | 17,407 | 8,321 | 4,875 | 70 | 2,389 | 11,155 | 4,541 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 76.5 | 18.4 | 8.8 | 5.2 | 0.1 | 2.5 | 11.8 | 4.8 |
| 増減率 | | | | | | | | | |
| 25年/20年 (%) | △ 18.0 | △ 17.7 | △ 18.5 | △ 18.2 | △ 22.1 | △ 37.5 | 11.1 | △ 19.3 | △ 22.4 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

2 本調査事項から得られたデータは、行政施策等において具体的にどのように利活用されているか。

- 1 本項目において得られる、主な出荷先別経営体数や出荷先別延べ経営体数のデータは、水産物の流通構造の現状を示すものであることから、流通改革を進めるための基礎データとして活用されている。
- 2 また、本項目の選択肢の一つである「自家販売」については、漁業者における所得向上のために行われている6次産業化の取組であり、その実態を表すデータとして、6次産業化推進のための施策の基礎資料として活用されるとともに、別途、当省で実施している6次産業化総合調査（一般統計調査）の母集団情報として活用されている。

3 上記を踏まえ、今回の選択肢区分の変更は適切なものとなっているか。

- 1 今回の選択肢区分の変更では、これまで区分していた「小売業者」と「生協」を統合し「小売業者・生協」とすることと、「直売所」と「自家販売」としていた消費者への直接販売の形態を「自営の水産物直売所」「その他の水産物直売所」「他の方法」の3区分とすることとしている。
- 2 一つ目の「小売業者・生協」への統合については、「生協」への出荷を行うのは70経営体（うち、主として「生協」に出荷する経営体は18経営体）と全体の0.1%にも満たない状況であるため選択肢とはしないこととするが、時系列の観点から、「小売業者・生協」とするものである。
- 3 二つ目の直接販売の形態を3区分とする変更については、「直売所」といった場合、自ら運営する直売所（自営）もあれば、共同で経営する直売所や道の駅など他が運営する直売所（自営以外）もあるが、当該項目を利用して漁業センサスを母集団情報としている、6次産業化総合調査（一般統計調査）において両者の扱いが違うため、母集団となる漁業センサスにおいても両者を区分し、記入者が紛れなく記入できるものとしている。また、直接販売には、インターネット販売や行商などの、店舗ではない形態もあることから更に「他の方法」も選択肢に加えている。

ケ 漁業以外の事業状況を把握する調査事項の変更〔漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）〕
 （論点_審査メモP21） [1-(2)-ケ-選択肢の追加-1]
 〔選択肢の追加〕

1 本調査項目について、データ面での経年変化はどうなっているか。

海面における、営んだ兼業種類別個人経営体数の推移は、以下のとおり。

表 営んだ兼業種類別個人経営体数（海面漁業）

| 区分 | 個人 経営体計 | 自 営 業 | | | | 勤 め |
|-------------|------------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| | | 水産 加工業 | 民 宿 | 遊漁船業 | そ の 他 | |
| 平成20年 | 109,451 | 2,189 | 1,632 | 5,926 | 21,360 | 31,849 |
| 25年 | 89,470 | 1,377 | 1,190 | 4,638 | 15,368 | 29,282 |
| 増減率 | | | | | | |
| 25年/20年 (%) | △ 18.3 | △ 37.1 | △ 27.1 | △ 21.7 | △ 28.1 | △ 8.1 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

（論点_審査メモP21） [1-(2)-ケ-選択肢の追加-2]

2 本調査項目から得られたデータは、行政施策等において具体的にどのように利活用されているのか。また、今回の選択肢の追加により得られるデータは、どのような利活用が見込まれるのか。

- 1 兼業の調査項目については、個人経営体がどのような手段で所得を得ているか、さらには、水産物の加工、民宿、遊漁船業といった、漁業経営における漁獲物や資産（漁船）を活用した多角経営の実態を明らかにし、経営の安定化やブルー・ツーリズムなどの施策の基礎資料として活用されてきた。
- 2 今回から、漁家レストラン、農業、小売業を追加しているが、新たな水産基本計画の下で漁業の成長産業化に向け、効率的かつ安定的な漁業経営体の育成はもとより、浜の活力再生プランの策定、6次産業化などの浜の資源を最大限に活用する様々な施策を推進することとしており、これまでの活用に加え、これらの施策の企画・立案等のための基礎資料としても活用が見込まれる。

3 これまで選択肢「その他」に含めていた「漁家レストラン」「農業」「小売業」を個別の選択肢として追加することとした理由は何か。

それぞれの選択肢については、以下の理由により追加したものである。

① 漁家レストラン

漁業者における6次産業化の取組状況を示すデータとなることに加え、当省で別途実施している6次産業化総合調査（一般統計調査）の母集団情報として活用することとなるため。

② 農業

2003年漁業センサスまでは、個人経営体における兼業の把握において「農業」を項目設定し、個人経営体の農業の兼業状況を把握していたが、2008年漁業センサスの設計の際、報告者負担の軽減を図る観点から、当該項目については「その他」に含めることに変更した。

しかしながら、漁村地域を活性化し多面的機能を維持するには、漁業者が漁村で生活し定住することが必要であり、「農業」は漁村での漁業以外の所得確保の手段として重要な位置にあることから、行政部局より、漁業者の兼業実態の選択肢に「農業」を追加（復活）するよう要望があったため。

（2003年漁業センサス結果では、125,931の個人経営体のうち、76,633経営体が兼業。そのうち、14,428経営体（すべての個人経営体の11.5%が農業を営んでいた。）

③ 小売業

上記②と同様に行政部局より、所得確保の手段として漁業者の兼業実態の選択肢に新たに「小売業」を追加して欲しいという要望があったため。また、漁業者における6次産業化の取組状況を示すデータとなるため。

〔調査項目の削除〕

1 本調査項目について、データ面での経年変化はどうなっているか。

海面における、遊漁船業を営む経営体数及び利用者数の推移は、以下のとおり。

表 遊漁船業を営む経営体数及び利用者数（海面漁業）

| 区 分 | 漁業経営体 | | | 年間延べ 利用者数 (人) | 1経営体 あたり 利用者数 (人) |
|-------------|---------|----------------|--------------------------|---------------------|----------------------------|
| | (経営体) | 個人経営体 (経営体) | 遊漁船業を 営む経営体数 (経営体) | | |
| 平成20年 | 115,196 | 109,451 | 5,926 | 1,650,426 | 279 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 95.0 | 5.4 | - | - |
| 25年 | 94,507 | 89,470 | 4,638 | 1,344,347 | 290 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 94.7 | 5.2 | - | - |
| 増減率 | | | | | |
| 25年/20年 (%) | △ 18.0 | △ 18.3 | △ 21.7 | △ 18.5 | 3.9 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

2 本調査項目から得られたデータは、行政施策等において、具体的にどのように利活用されていたのか。また、本調査項目を削除しても支障等は生じないか。

- 1 これまで、都道府県や市区町村、漁業地区ごとの個人経営体が行う遊漁船業の利用者数の統計を作成することで、個人経営体が行う経営の多角化の実態やブルー・ツーリズムの状況を表す基礎データとして活用されていた。
- 2 本項目については、2008年及び2013年の2回に渡って把握してきたが、遊漁船業を営む個人経営体や年間延べ利用者数の総数には変化が見られたものの、1経営体あたりの利用者数に大きな変化はなく、遊漁船業を営む個人経営体を把握することで、利用者数については概ね推計が可能であることから、本項目を削除しても支障はないと見込んでいる。

シ 漁業以外の仕事の状況を把握する調査事項の削除

〔内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）〕

（論点_審査メモP24）

[1-(2)-シー1]

1 本調査事項について、データ面での経年変化はどのようになっているか。

内水面における、兼業経営体（個人経営体）の営んだ兼業種類別経営体数の推移は、下表のとおり。

表1 内水面養殖業における兼業経営体の営んだ兼業種類別経営体数（個人経営体）

単位：経営体

| 区分 | 個人 経営体計 | 兼業経営体 | 自家漁業 以外の 自営業 | | 勤め |
|-------------|------------|--------|--------------------|--------|--------|
| | | | | 民宿 | |
| 平成20年 | 2,861 | 2,147 | 1,600 | 66 | 661 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 75.0 | 55.9 | 2.3 | 23.1 |
| 25年 | 2,304 | 1,616 | 1,145 | 38 | 519 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 70.1 | 49.7 | 1.6 | 22.5 |
| 増減率 | | | | | |
| 25年/20年 (%) | △ 19.5 | △ 24.7 | △ 28.4 | △ 42.4 | △ 21.5 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

表2 湖沼漁業における兼業経営体の営んだ兼業種類別経営体数
（年間湖上作業従事日数30日以上の個人経営体）

単位：経営体

| 区分 | 個人 経営体計 | 兼業経営体 | 自家漁業 以外の 自営業 | | 勤め |
|-------------|------------|--------|--------------------|--------|------|
| | | | | 民宿 | |
| 平成20年 | 2,442 | 1,827 | 1,361 | 37 | 476 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 74.8 | 55.7 | 1.5 | 19.5 |
| 25年 | 2,162 | 1,510 | 1,039 | 31 | 495 |
| 構成比 (%) | 100.0 | 69.8 | 48.1 | 1.4 | 22.9 |
| 増減率 | | | | | |
| 25年/20年 (%) | △ 11.5 | △ 17.4 | △ 23.7 | △ 16.2 | 4.0 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

2 内水面漁業経営体（個人経営体）のうち、民宿を営んでいる経営体の数は、どのように推移しているか。

内水面における、民宿を営む個人経営体数及び利用者数の推移は、下表のとおり。

表1 民宿を営む個人経営体数及び利用者数（内水面養殖業）

| 区分 | 民宿を営む 個人経営体数 | 延べ利用者数 | 1経営体 あたり 利用者数 |
|-------------|-----------------|--------|---------------------|
| | (経営体) | (人) | (人) |
| 平成20年 | 66 | 33,065 | 501 |
| 25年 | 38 | 19,370 | 510 |
| 増減率 | | | |
| 25年/20年 (%) | △ 42.4 | △ 41.4 | 1.8 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

表2 民宿を営む個人経営体数及び利用者数（湖沼漁業）

| 区分 | 民宿を営む 個人経営体数 | 延べ利用者数 | 1経営体 あたり 利用者数 |
|-------------|-----------------|--------|---------------------|
| | (経営体) | (人) | (人) |
| 平成20年 | 37 | 45,278 | 1,224 |
| 25年 | 31 | 36,512 | 1,178 |
| 増減率 | | | |
| 25年/20年 (%) | △ 16.2 | △ 19.4 | △ 3.8 |

資料：農林水産省「漁業センサス」より

3 本調査事項から得られたデータは、行政施策等において具体的にどのように利活用されていたのか。また、本調査事項を削除しても支障等は生じないか。

1 兼業の種類については、個人経営体における自家漁業以外の生計を維持する手段を把握し、経営の安定化などに向けた施策の基礎資料として活用されてきた。

2 しかしながら、自家漁業以外の自営業の割合を行う経営体の割合に大きな変動はなく、兼業種類については利活用も低いことから、削除するものである。また、民宿を営む内水面経営体はわずかであり、記入者負担の軽減を図るため削除するものである。

なお、専業か兼業かについては、引き続き把握するため、利活用上の支障はないと見込んでいる。

ス 前回報告値欄（プレプリント）の追加〔内水面漁業地域調査票〕

（論点_審査メモP25）

[1-（2）-ス-1]

1 前回報告値欄を追加することとした具体的な背景事情は何か。

前回 2013 年漁業センサスを実施中に、報告者より前回（2008 年）値についての問合せがいくつかあったことを踏まえ、記入者がより簡単に紛れなく記入することができるよう、今回から前回報告値のプレプリント方式を採用した。

（論点_審査メモP25）

[1-（2）-ス-2]

2 前回報告値欄を追加する調査事項と追加しない調査事項の差異は何か。また、内水面漁業地域調査票においてのみ追加する理由は何か。次回調査以降、その拡充等を図る余地はないか。

1 前回値プレプリントを行うのは、数値を直接記入する調査事項としており、該当する選択肢を選ぶ調査事項には前回値プレプリントは行わない。

これは、調査対象が保有する各種データから計算して数値を作成する場合もあるため、その際の計算方法が前回と異なっていないか確認できるよう措置したものである。

なお、組合員数を記入する調査事項については、計算を要しないことから前回値プレプリントは行っていない。

2 前回値プレプリントの導入については、調査項目が少なく、情報の漏洩リスクの少ない、郵送調査において実施が可能と考えている。このため、2018 年漁業センサスから、調査員調査から郵送調査に切り替える内水面漁業地域調査において導入を予定している。

3 同じく漁協を対象に郵送調査を行うことを考えている海面漁業地域調査についても、同様に前回値プレプリントの導入を考えたいところであるが、本調査は、今回の 2018 年漁業センサスでは、新たな調査内容へと大幅な見直しをかけることから、前回値の確保の関係から導入が困難と考えている。次回センサスに向けては、今回の実施状況も踏まえ検討して参りたい。